

隣接学校希望入学制度に関するアンケートの実施結果

1 目的

児童・生徒が就学する学校は、学校教育法施行令の規定により、教育委員会が学校ごとに通学区域を設定し、これに基づいて就学する学校を指定している。目黒区では、通学区域の指定校を基本とした上で、保護者の意向への配慮、学校選択の機会の確保、学校生活の充実と魅力ある開かれた学校づくりの一層の推進等を目的として、指定校に隣接する学校へ入学を希望できる隣接学校希望入学制度（以下「隣接制度」という。）を実施している。隣接制度の対象は、区立小学校及び中学校の第1学年に入学する児童・生徒とし、平成15年度入学から中学校を開始し、17年度入学から小学校を開始したところである。

隣接制度の開始から約10年が経過した平成26年度には、隣接制度目的の達成状況等の検証を行うためにアンケート調査を実施し、隣接制度の目的については一定の成果を達成しているとの回答を得ているところである。

一方、近年は、隣接校への希望集中による一部の学校の小規模化、区内の児童数の増加による小学校での隣接受入れ人数の減少や受け入れできない学校数の増加など、隣接制度の根幹に係る新たな課題が発生している。このように、隣接制度を取り巻く状況が急激に変化してきたことから、今後の隣接制度のあり方について、平成29年度に新たなアンケート調査を実施し、アンケート結果と平成29年及び平成30年4月入学者の隣接制度実施結果等を総合的に判断し、隣接制度の見直しの必要性等について、検討することとした。

2 調査期間

平成29年10月13日(金)～11月20日(月)

3 調査対象

就学前児童 平成31年及び32年の4月に入学する児童の保護者
(各小学校の学区ごとに各年齢50人を無作為抽出)
区立小学校 第1学年の保護者・第4、5学年の保護者
区立中学校 第1学年の保護者
地域関係者 住区住民会議代表及び青少年部会代表、町会長、自治会長、青少年委員、学校評議員

4 調査項目

- (1) 小・中学校の入学について
区立校への入学希望、隣接制度の利用状況
- (2) 学校選択の理由等
- (3) 隣接制度の影響について
隣接制度導入による影響、地域活動への参加状況及び影響、通学の安全面への影響
- (4) 隣接制度への意見
今後の隣接制度のあり方、隣接制度見直しの内容

5 回答者数等

回答者数 5,772人(対象者数 7,876人) 回答率: 73.3%

調査対象		対象者数	回答者数	回答率	
小学校	平成31年及び32年に入学	保護者	2,178	1,053	48.3%
	1学年	保護者	1,691	1,440	85.2%
	4、5学年	保護者	2,940	2,406	81.8%
中学校	1学年	保護者	864	689	79.7%
地域関係者			203	184	90.6%
合計			7,876	5,772	73.3%

【保護者、地域関係者の回答内容等について】

1 小学校

(1) 選択の状況について

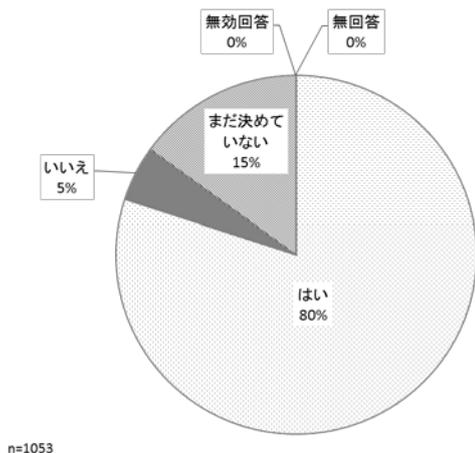
① 区立学校への入学希望について

【質問：お子様は区立小学校への入学を希望されていますか。】

対象；<平成29年度>平成31年及び32年に入学する児童の保護者

結果；「はい」（1,053人中834人・80%）が最も多く、次は「まだ決めていない」（162人・15%）となっている。

平成31年及び32年に入学する保護者計



② 隣接制度の利用について

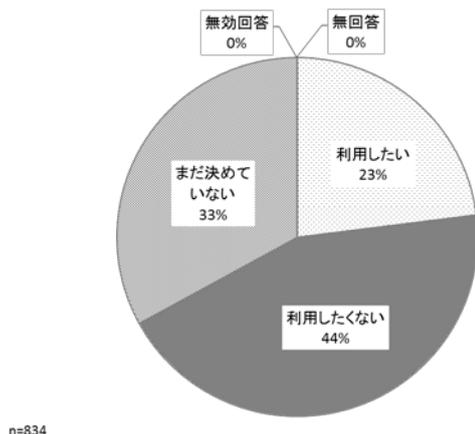
【質問：お子様は、隣接小学校希望入学制度（以下「隣接制度」という。）を利用して入学されましたか。／お子様の入学時には、隣接小学校希望入学制度（以下「隣接制度」という。）を利用したいと思いますか。】

対象；<平成29年度>平成31年及び32年に入学する児童の保護者(区立小学校入学希望者)
区立小学校第1学年の保護者

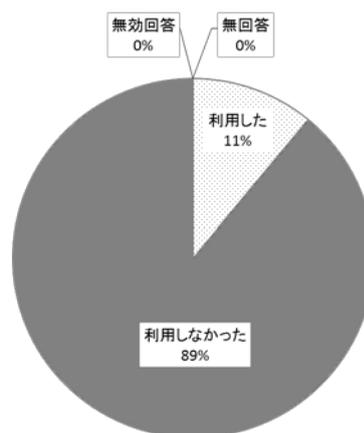
結果； 区立小学校入学を希望している平成31年及び32年に入学する児童の保護者は、「利用したくない」（834人中368人・44%）が最も多く、次は「まだ決めていない」（277人・33%）となっている。

小学校1年生の保護者は、「利用しなかった」（1,417人中1,263人・89%）が最も多く、次は「利用した」（154人・11%）となっている。

区立小学校入学を希望している
平成31年及び32年に入学する保護者計



小学校1年生の保護者計



③ 【隣接制度利用者】現在の学校（希望する学校）への入学理由（複数回答可）

【質問：現在の学校に入学することにした理由は何ですか。／入学を希望する学校を選ぶときの理由は何ですか。】

対象；＜平成29年度＞平成31年及び32年に入学する児童の保護者

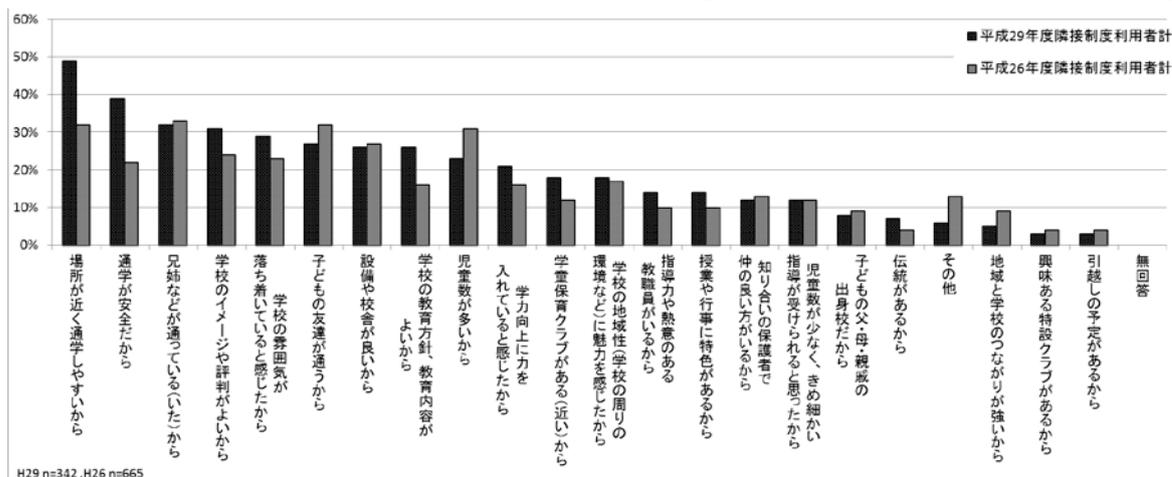
区立小学校第1学年の保護者

＜平成26年度＞区立小学校第1、2、3学年の保護者

区立小学校第4、5、6学年の保護者（PTA委員のみ）

結果；「場所が近く通学しやすいから」（342人中166人・49％）が最も多く、次は「通学が安全だから」（134人・39％）となっている。

平成26年度は、「兄弟などが通っている（いた）から」（665人中217人・33％）が最も多く、次は「場所が近く通学しやすいから」（211人・32％）となっている。



④ 【隣接制度利用者】指定校を選ばなかった（選ばない）理由（複数回答可）

【質問：お住まいの学区の学校（指定校）を選ばなかった理由は何ですか。／お住まいの学区の学校（指定校）を選ばない理由は何ですか。】

対象；＜平成29年度＞平成31年及び32年に入学する児童の保護者

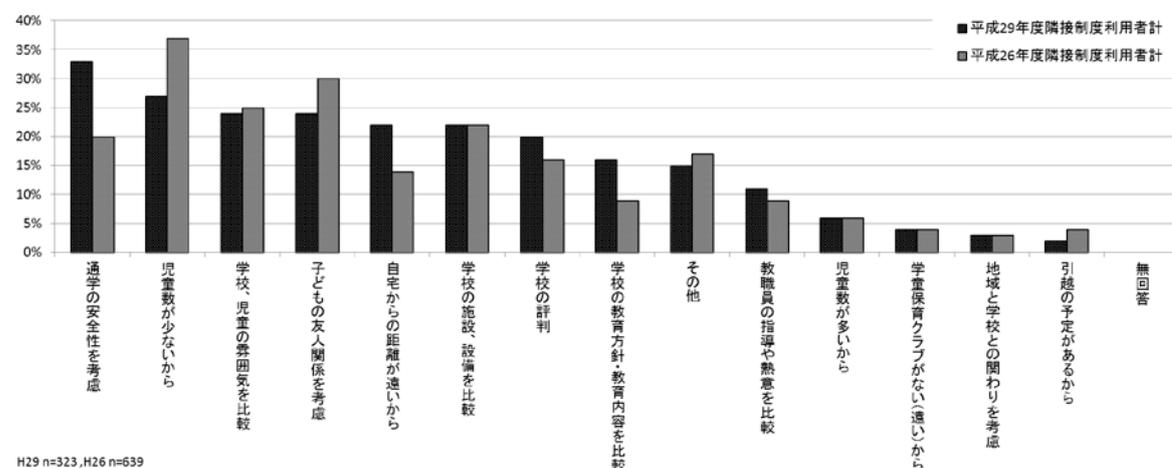
区立小学校第1学年の保護者

＜平成26年度＞区立小学校第1、2、3学年の保護者

区立小学校第4、5、6学年の保護者（PTA委員のみ）

結果；「通学の安全性を考慮」（323人中105人・33％）が最も多く、次は「児童数が少ないから」（87人・27％）となっている。

平成26年度は、「児童数が少ないから」（639人中234人・37％）が最も多く、次は「子どもの友人関係を考慮」（192人・30％）となっている。



⑤ 【隣接制度利用者】学校を決める際に役立った情報（複数回答可）

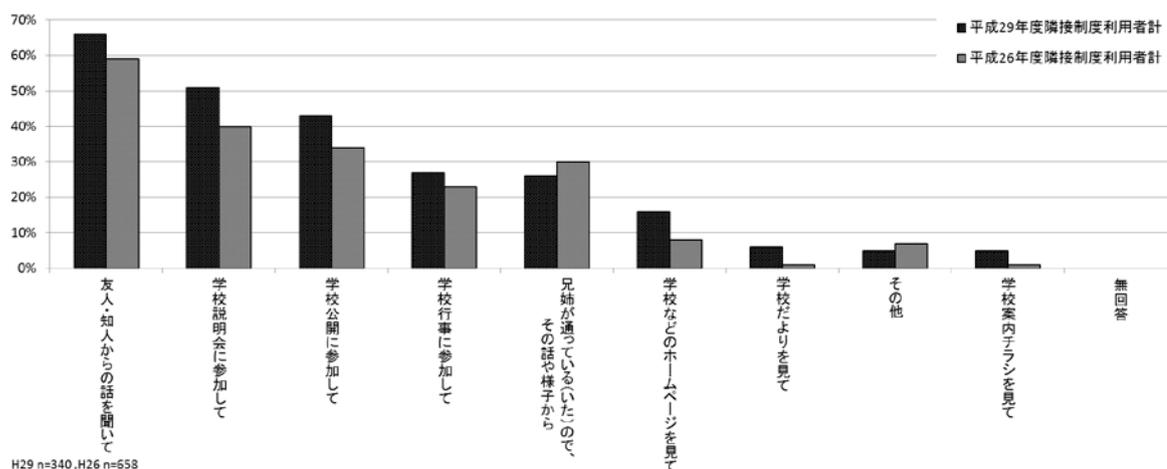
【質問：学校を決める際にどの情報が役に立ちましたか。／学校を決める際にどのような情報を参考にされますか。】

対象；＜平成29年度＞平成31年及び32年に入学する児童の保護者
区立小学校第1学年の保護者

＜平成26年度＞区立小学校第1、2、3学年の保護者
区立小学校第4、5、6学年の保護者（PTA委員のみ）

結果； 「友人・知人からの話を聞いて」（340人中225人・66％）が最も多く、次は「学校説明会に参加して」（174人・51％）となっている。

平成26年度は、同じく「友人・知人からの話を聞いて」（658人中389人・59％）が最も多く、次は「学校説明会に参加して」（265人・40％）となっている。



⑥ 【指定校入学者】隣接制度を利用しなかった（利用したくない）理由

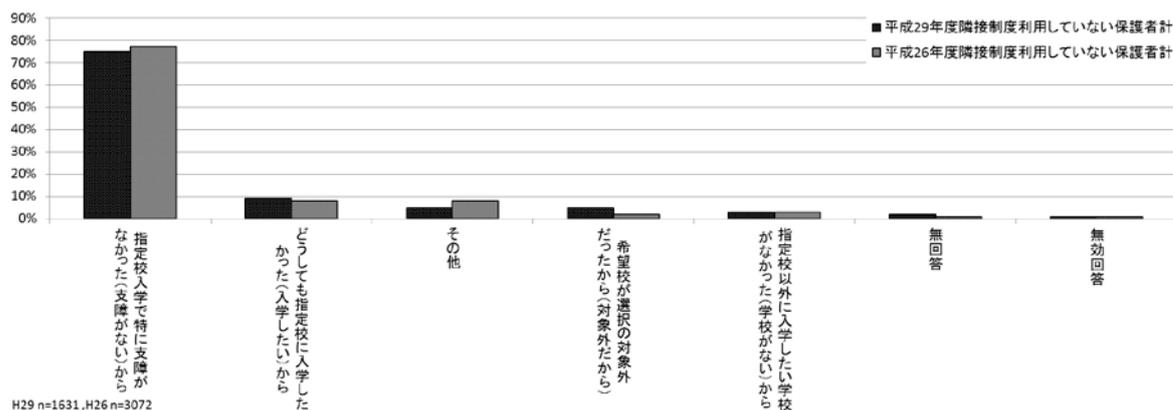
【質問：利用しなかったのはなぜですか？／利用したくない理由は何ですか。】

対象；＜平成29年度＞平成31年及び32年に入学する児童の保護者
区立小学校第1学年の保護者

＜平成26年度＞区立小学校第1、2、3学年の保護者
区立小学校第4、5、6学年の保護者（PTA委員のみ）

結果； 「指定校入学で特に支障がなかった（支障がない）から」（1,631人中1,230人・75％）が最も多く、次は「どうしても指定校に入学したかった（入学したい）から」（141人・9％）となっている。

平成26年度は、同じく「指定校入学で特に支障がなかったから」（3,072人中2,382人・78％）が最も多くなっている。



⑦ 【指定校入学者】現在の学校（希望する学校）への入学理由（複数回答可）

【質問：現在の学校に入学することにした理由は何ですか。／入学を希望する学校を選ぶときの理由は何ですか。】

対象；＜平成29年度＞平成31年及び32年に入学する児童の保護者

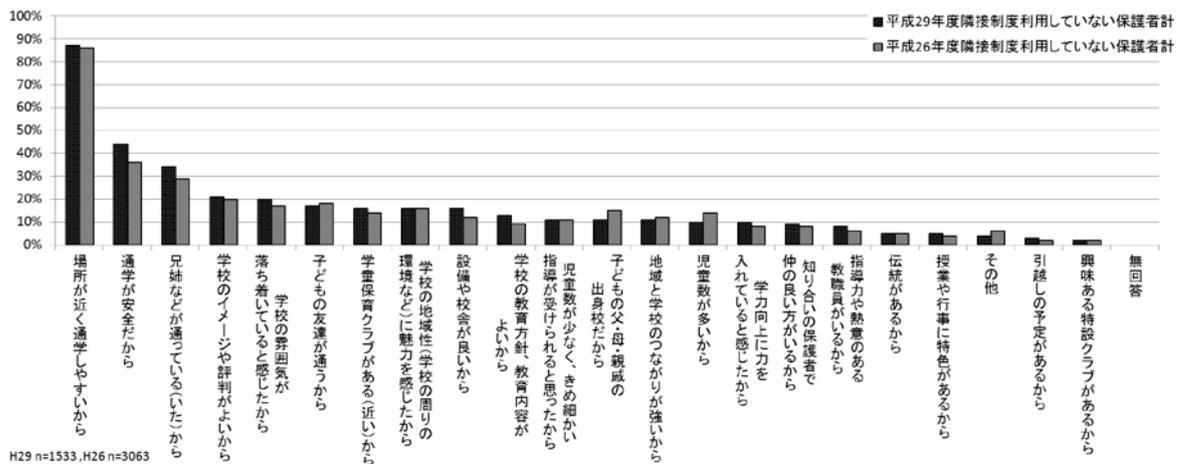
区立小学校第1学年の保護者

＜平成26年度＞区立小学校第1、2、3学年の保護者

区立小学校第4、5、6学年の保護者（PTA委員のみ）

結果； 「場所が近く通学しやすいから」（1,533人中1,337人・87%）が最も多く、次は「通学が安全だから」（674人・44%）となっている。

平成26年度は、同じく「場所が近く通学しやすいから」（3,063人中2,625人・86%）が最も多く、次は「通学が安全だから」（1,109人・36%）となっている。



⑧ 【隣接制度利用者及び指定校入学者】学校を決める際に役立つ情報（複数回答可）

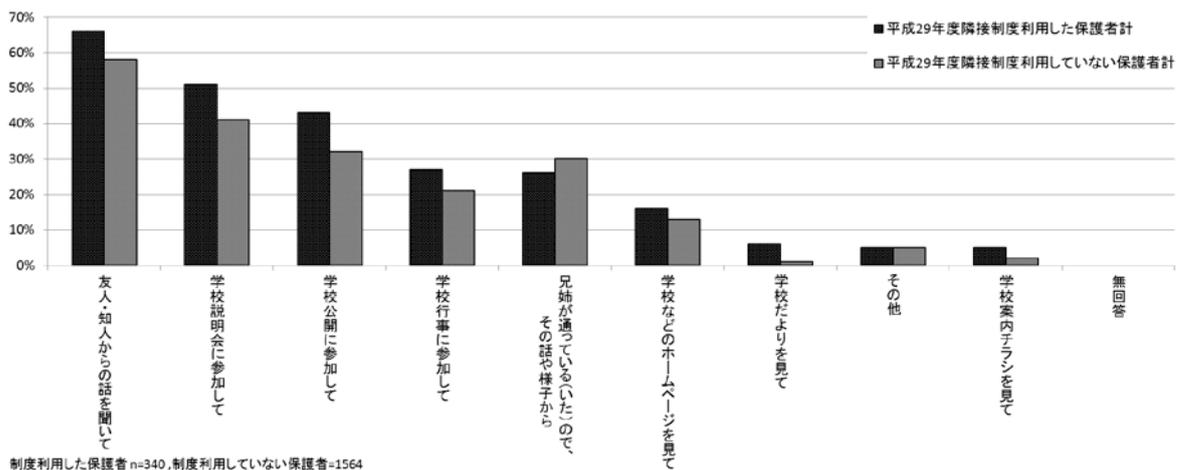
【質問：学校を決める際にどの情報が役に立ちましたか。／学校を決める際にどのような情報を参考にされますか。】

対象；＜平成29年度＞平成31年及び32年に入学する児童の保護者

区立小学校第1学年の保護者

結果； 隣接制度を利用した保護者は、「友人・知人からの話を聞いて」（340人中225人・66%）が最も多く、次は「学校説明会に参加して」（174人・51%）となっている。

指定校入学の（隣接制度を利用していない）保護者は、同じく「友人・知人からの話を聞いて」（1,564人中908人・58%）が最も多く、次は「学校説明会に参加して」（644人・41%）となっている。



制度利用した保護者 n=340, 制度利用していない保護者=1564

(2) 通学の安全について

① 通学時間

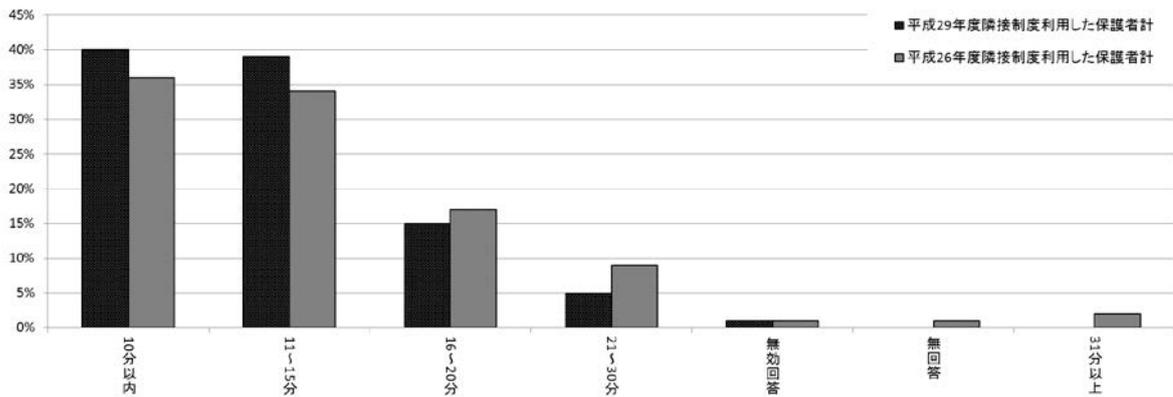
【質問：お子様の通学時間は、どのくらいですか。／希望校に入学した場合、お子様の通学時間は、どのくらいですか。】

対象；＜平成29年度＞平成31年及び32年に入学する児童の保護者
区立小学校第1学年の保護者

＜平成26年度＞区立小学校第1、2、3学年の保護者

結果； 隣接制度を利用した保護者は、「10分以内」（343人中138人・40％）が最も多く、次は「11分～15分」（133人・39％）となっている。

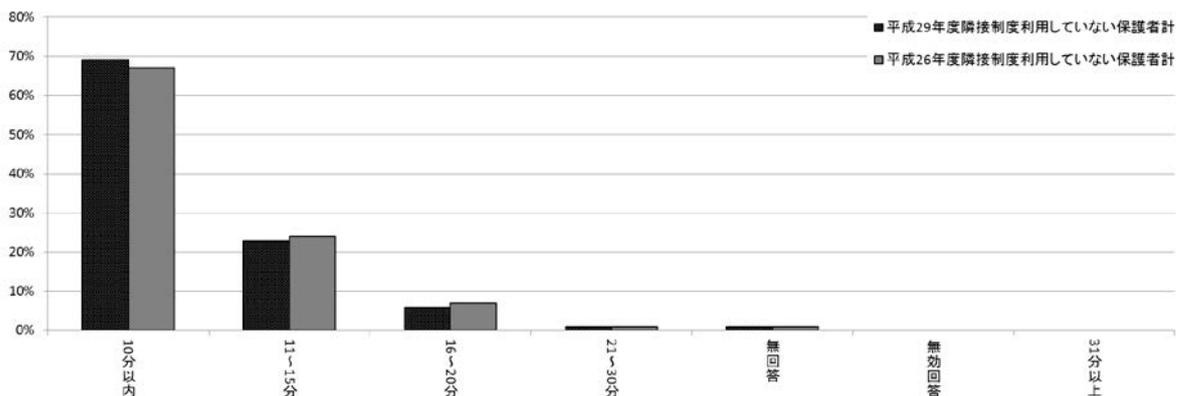
平成26年度は、同じく「10分以内」（600人中217人・36％）が最も多く、次は「11分～15分」（209人・34％）となっている。



H29 n=343, H26 n=600

指定校入学の（隣接制度を利用していない）保護者は、同じく「10分以内」（1,631人中1,126人・69％）が最も多く、次は「11分～15分」（371人・23％）となっている。

平成26年度は、同じく「10分以内」（2,699人中1,821人・67％）が最も多く、次は「11分～15分」（636人・24％）となっている。



H29 n=1631, H26 n=2699

② 通学上の不安

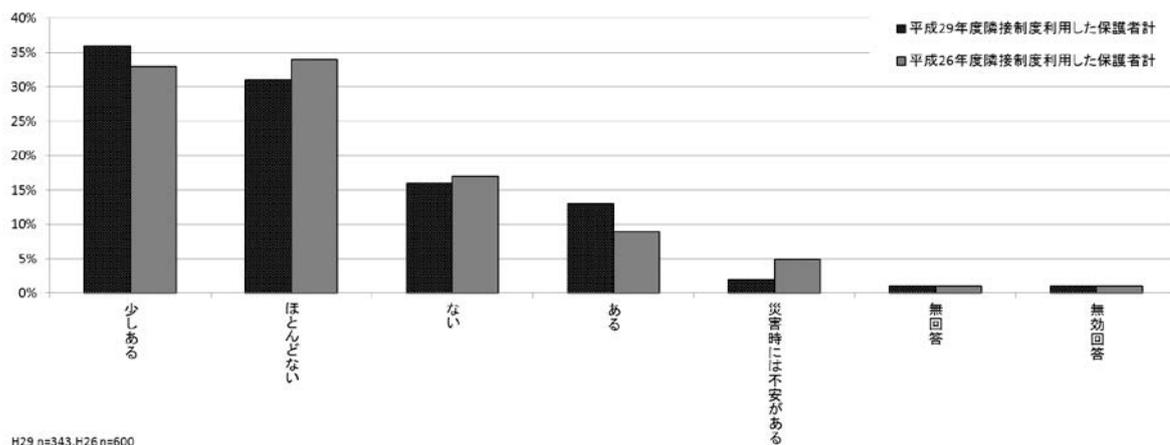
【質問：制度の導入の課題として、通学上の安全があがっていますが、お子様の通学について不安はありますか。】

対象；＜平成29年度＞平成31年及び32年に入学する児童の保護者
区立小学校第1学年の保護者

＜平成26年度＞区立小学校第1、2、3学年の保護者

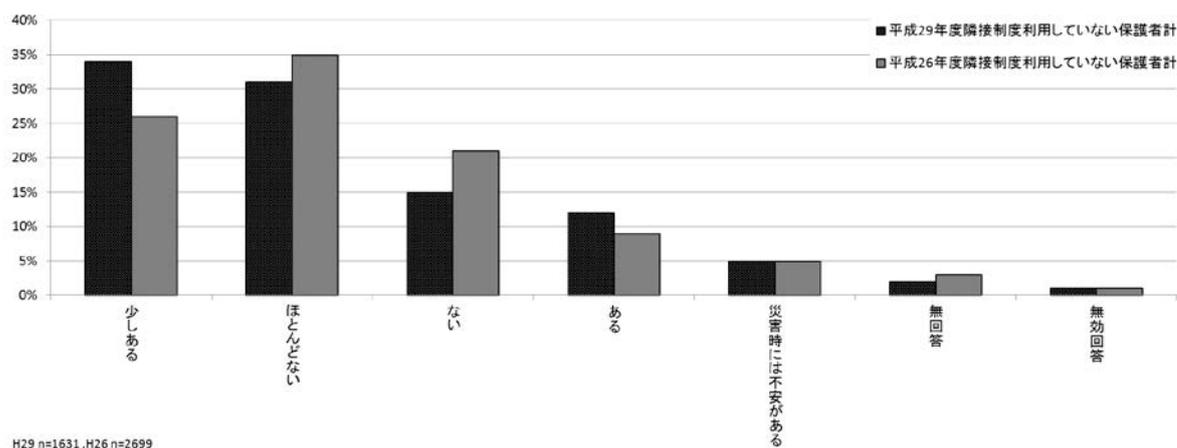
結果； 隣接制度を利用した保護者は、「少しある」（343人中121人・36％）が最も多く、次は「ほとんどない」（107人・31％）となっている。

平成26年度は、「ほとんどない」（600人中202人・34％）が最も多く、次は「少しある」（200人・33％）となっている。



指定校入学の（隣接制度を利用していない）保護者は、「少しある」（1631人中54人・34％）が最も多く、次は「ほとんどない」（506人・31％）となっている。

平成26年度は、「ほとんどない」（2,699人中958人・35％）が最も多く、次は「少しある」（691人・26％）となっている。



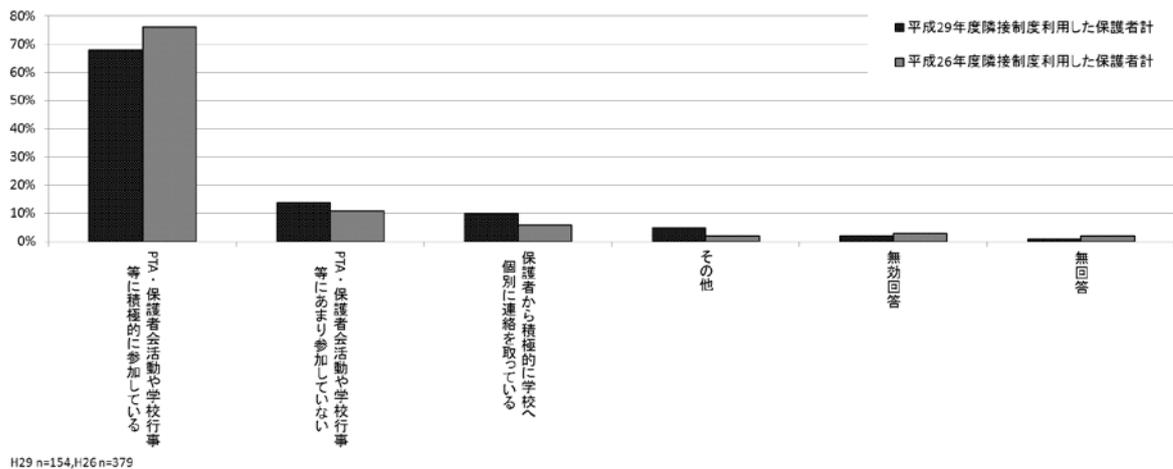
(3) 学校行事等への参加状況について

【質問：お子様が入学した学校について、保護者としてどのようなかかわりをしていますか。】

対象；＜平成29年度＞区立小学校第1学年の保護者
 ＜平成26年度＞区立小学校第2、3学年の保護者

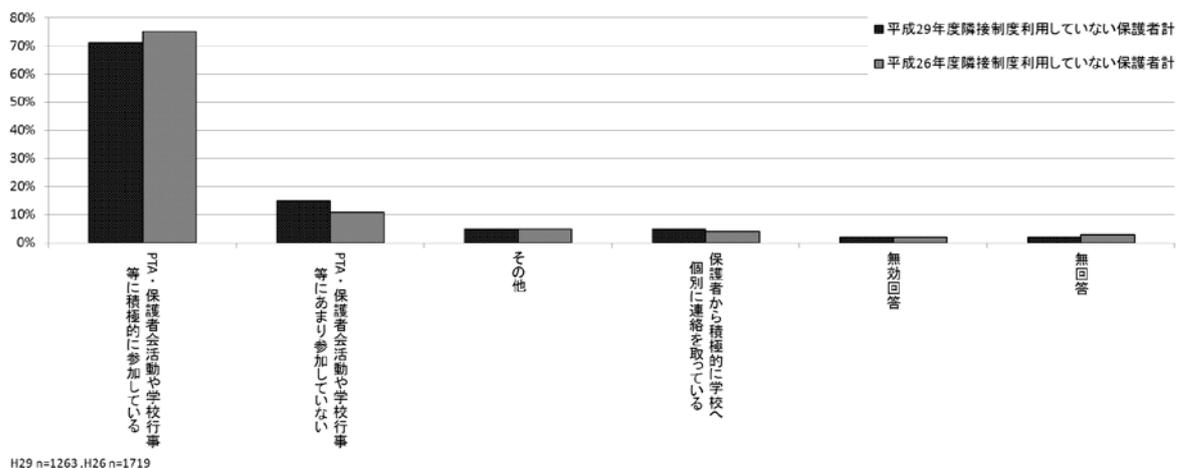
結果； 隣接制度を利用した保護者は、「PTA・保護者会活動や学校行事に積極的に参加している」（154人中104人・68％）が最も多く、次は「PTA・保護者会活動や学校行事等にあまり参加していない」（22人・14％）となっている。

平成26年度は、同じく「PTA・保護者会活動や学校行事に積極的に参加している」（379人中287人・76％）が最も多く、次は「PTA・保護者会活動や学校行事等にあまり参加していない」（40人・11％）となっている。



指定校入学の（隣接制度を利用していない）保護者は、「PTA・保護者会活動や学校行事に積極的に参加している」（1263人中895人・71％）が最も多く、次は「PTA・保護者会活動や学校行事等にあまり参加していない」（186人・15％）となっている。

平成26年度は、同じく「PTA・保護者会活動や学校行事に積極的に参加している」（1,719人中1,295人・75％）が最も多く、次は「PTA・保護者会活動や学校行事等にあまり参加していない」（196人・11％）となっている。



(4) 学校の特色、魅力づくりの状況について

【質問：隣接制度導入は、「児童、生徒、保護者及び学校職員等の教育活動や学校運営に対する意識をより高め、学校教育の活性化と多様化を促し、学校の特色・魅力づくりを推進する」ことを目的としていますが、あなたの学校では、学校の特色・魅力づくりが今まで以上に進んでいると思いますか。】

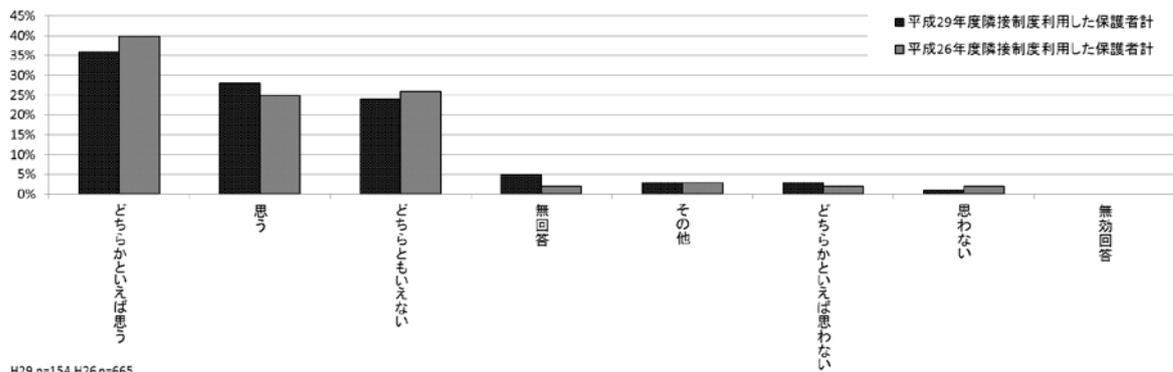
対象；＜平成29年度＞区立小学校第1学年の保護者

＜平成26年度＞区立小学校第1、2、3学年の保護者

区立小学校第4、5、6学年の保護者（PTA委員のみ）

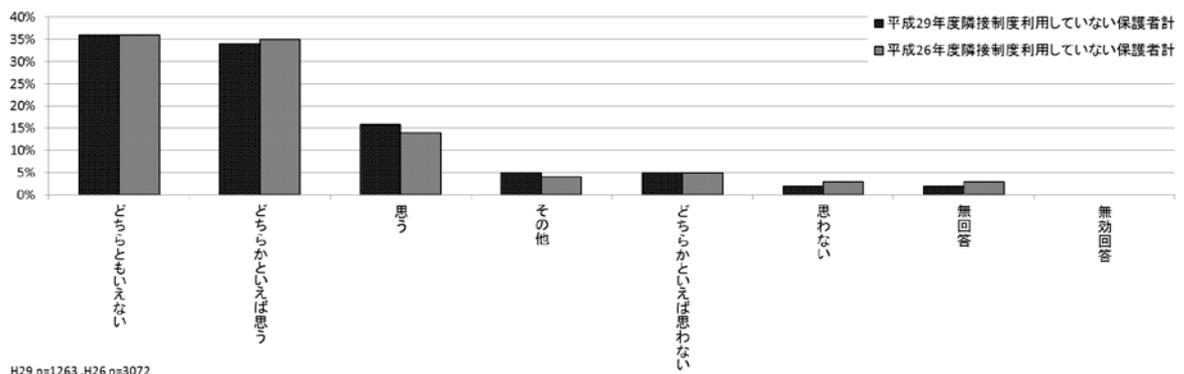
結果； 隣接制度を利用した保護者は、「どちらかといえば思う」（154人中55人・36％）が最も多く、次は「思う」（43人・28％）となっている。

平成26年度は、同じく「どちらかといえば思う」（665人中265人・40％）が最も多く、次は「どちらともいえない」（169人・26％）となっている。



指定校入学の（隣接制度を利用していない）保護者は、「どちらともいえない」（1,263人中458人・36％）が最も多く、次は「どちらかといえば思う」（432人・34％）となっている。

平成26年度は、同じく「どちらともいえない」（3,072人中1,095人・36％）が最も多く、次は「どちらかといえば思う」（1,067人・35％）となっている。



(5) 隣接制度導入による全般的な影響について（複数回答可）

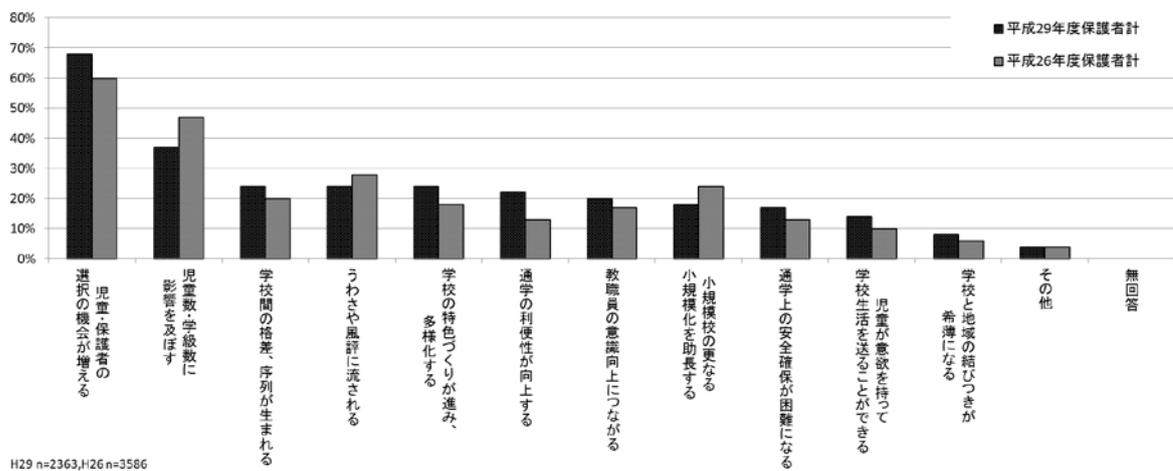
【質問：（お子様の学校では／あなたの地域の学校では）隣接制度の導入により、どのような影響がある（あった）と思いますか。】

対象；＜平成29年度＞平成31年及び32年に入学する児童の保護者
区立小学校第1学年の保護者
地域関係者

＜平成26年度＞区立小学校第1、2、3学年の保護者
区立小学校第4、5、6学年の保護者（PTA委員のみ）、
地域関係者

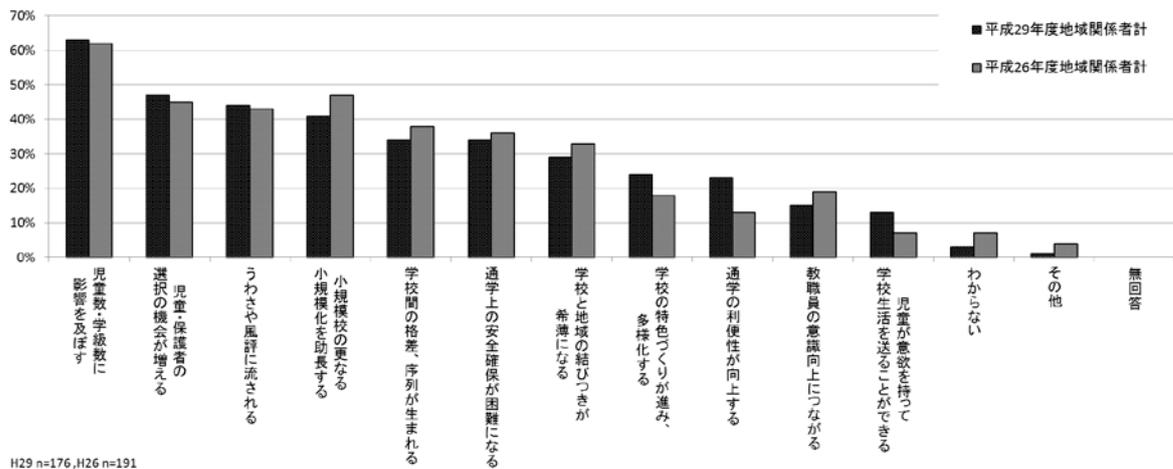
結果； 保護者は、「児童・保護者の選択の機会が増える」（2,363人中1,605人・68%）が最も多く、次は「児童数・学級数に影響を及ぼす」（866人・37%）となっている。

平成26年度は、同じく「児童・保護者の選択の機会が増える」（3,586人中2,160人・60%）が最も多く、次は「児童数・学級数に影響を及ぼす」（1,693人・47%）となっている。



地域関係者は、「児童数・学級数に影響を及ぼす」（176人中111人・63%）が最も多く、次は「児童・保護者の選択の機会が増える」（82人・47%）となっている。

平成26年度は、同じく「児童数・学級数に影響を及ぼす」（191人中119人・62%）が最も多く、次は「小規模校の更なる小規模化を助長する」（89人・47%）となっている。



(6) P T A 活動等への影響

【質問：P T A 委員の方のみお答えください。あなたの学校では、隣接制度の導入により P T A 活動等への影響がある（あった）と思いますか。】

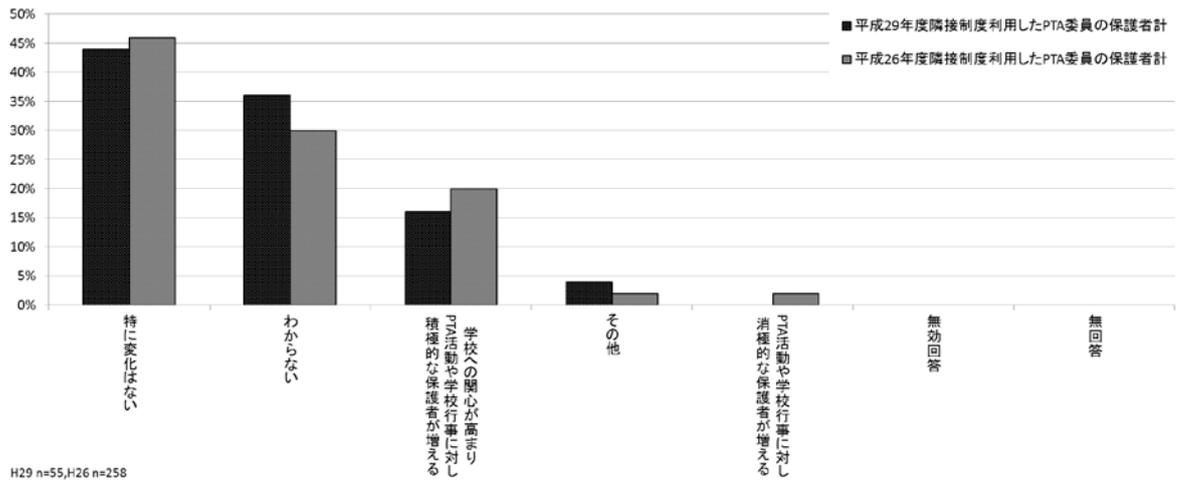
対象；＜平成29年度＞区立小学校第1学年の保護者（P T A 委員のみ）

＜平成26年度＞区立小学校第1、2、3学年の保護者（P T A 委員のみ）

区立小学校第4、5、6学年の保護者（P T A 委員のみ）

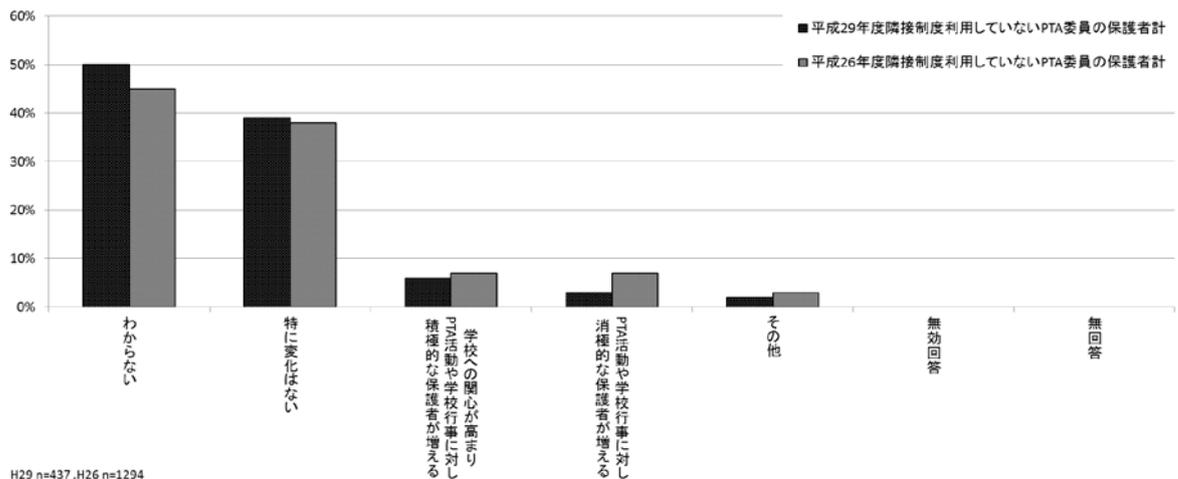
結果； 隣接制度を利用したP T A 委員は、「特に変化はない」（55人中24人・44％）が最も多く、次は「わからない」（20人・36％）となっている。

平成26年度は、同じく「特に変化はない」（258人中119人・46％）が最も多く、次は「わからない」（77人・30％）となっている。



指定校入学の（隣接制度を利用していない）P T A 委員は、「わからない」（437人中218人・50％）が最も多く、次は「特に変化はない」（167人・39％）となっている。

平成26年度は、同じく「わからない」（1,294人中578人・45％）が最も多く、次は「特に変化はない」（495人・38％）となっている。



(7) 地域行事への参加度について

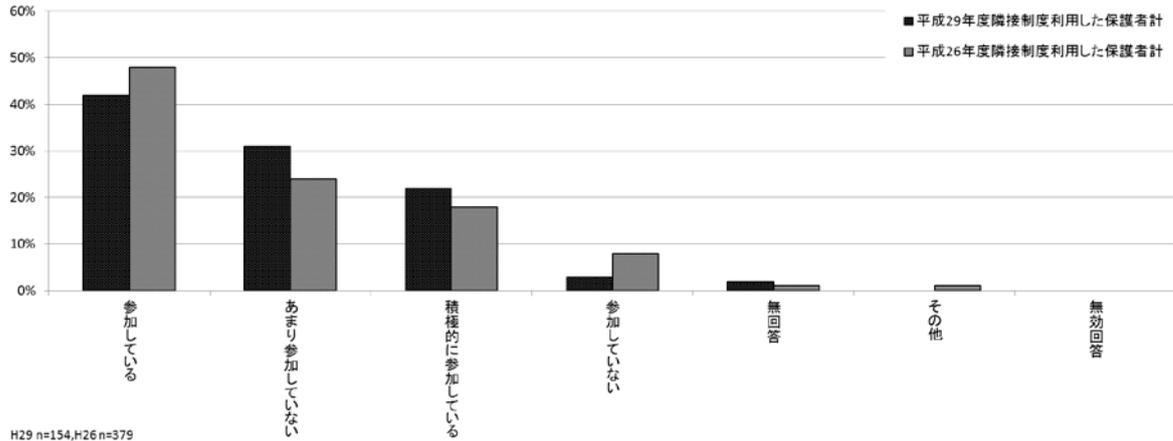
【質問：お子様は、通学している学校の通学区域内での地域（住区、町会・自治会、商店街等）の行事に参加していますか？】

対象；＜平成29年度＞区立小学校第1学年の保護者

＜平成26年度＞区立小学校第2、3学年の保護者

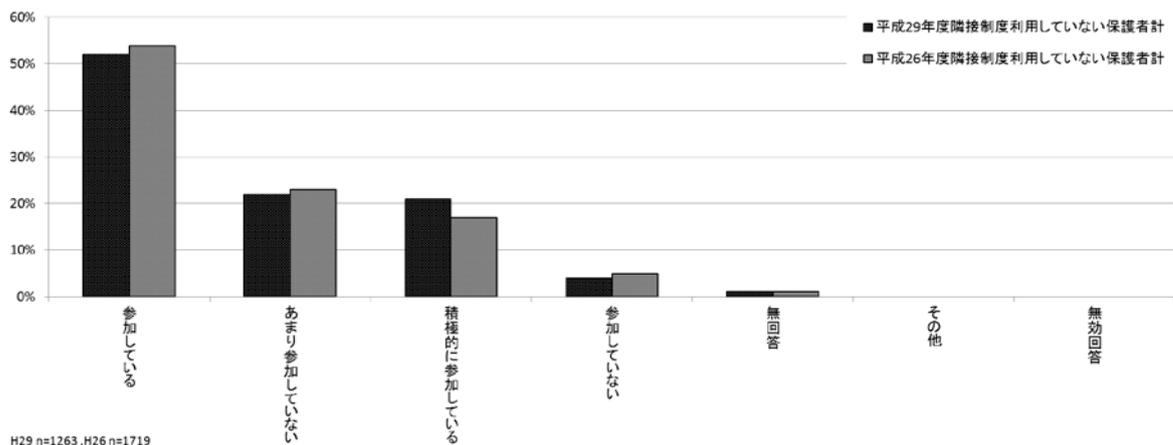
結果； 隣接制度を利用した保護者は、「参加している」（154人中64人・42％）が最も多く、次は「あまり参加していない」（48人・31％）となっている。

平成26年度は、同じく「参加している」（379人中184人・48％）が最も多く、次は「あまり参加していない」（90人・24％）となっている。



指定校入学の（隣接制度を利用していない）保護者は、「参加している」（1,263人中659人・52％）が最も多く、次は「あまり参加していない」（272人・22％）となっている。

平成26年度は、同じく「参加している」（1,719人中924人・54％）が最も多く、次は「あまり参加していない」（388人・23％）となっている。



(8) 地域行事の参加率への影響について

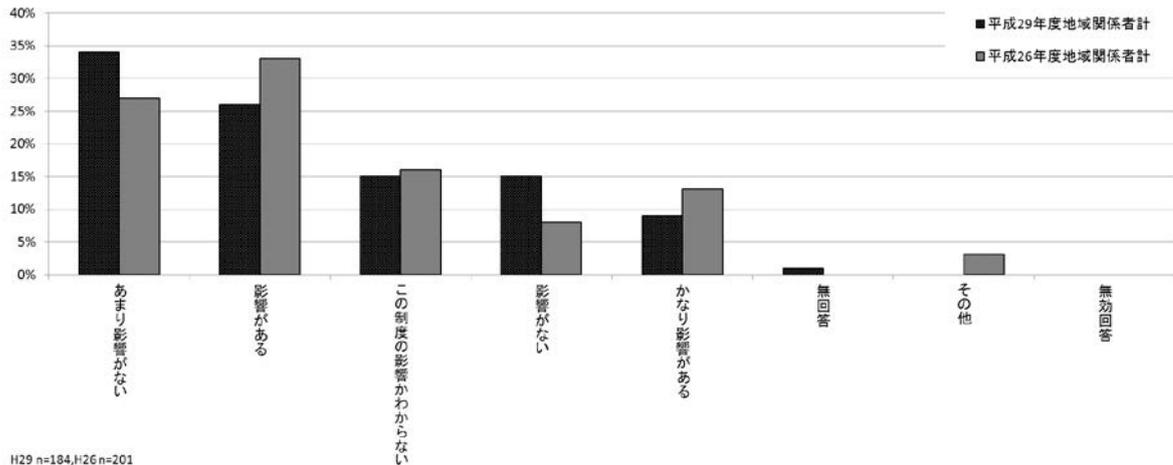
【質問：あなたの地域では、この制度により地域行事の参加率に影響がある（あった）と思いますか。】

対象；＜平成29年度＞地域関係者

＜平成26年度＞地域関係者

結果； 「あまり影響がない」（184人中63人・34％）が最も多く、次は「影響がある」（48人・26％）となっている。

平成26年度は、「影響がある」（201人中66人・33％）が最も多く、次は「あまり影響がない」（54人・27％）となっている。



(9) 地域とのつながりへの影響について（複数回答可）

① 隣接制度導入の影響

【質問：（お子様の学校では／あなたの地域では）隣接制度の導入により、地域（地域住民、住区、町会・自治会等）とのつながりにどのような影響がある（あった）と思いますか】

対象；＜平成29年度＞区立小学校第1学年の保護者

地域関係者

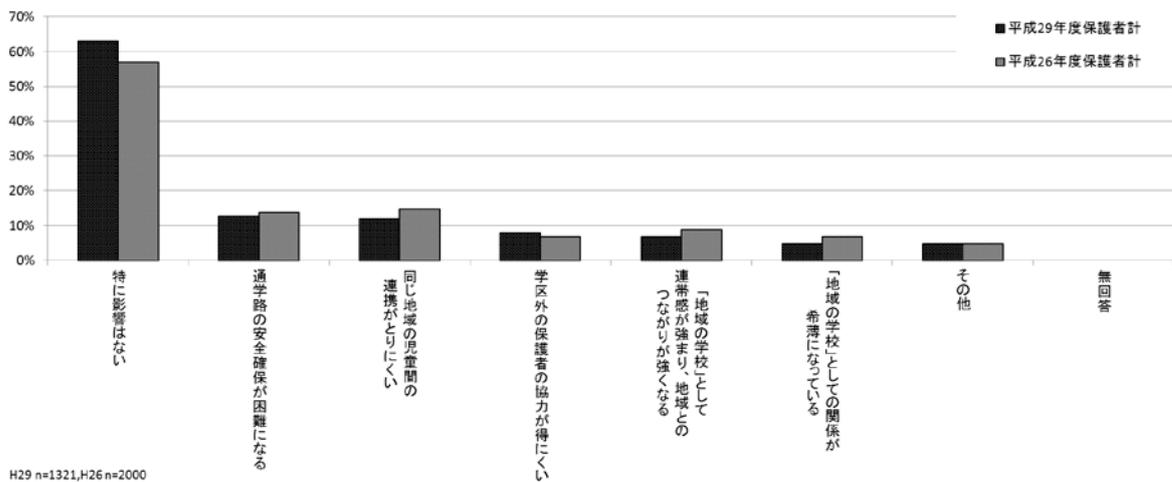
＜平成26年度＞区立小学校第2、3学年児童の保護者，

区立小学校第4、5、6学年児童の保護者（PTA委員のみ），

地域関係者

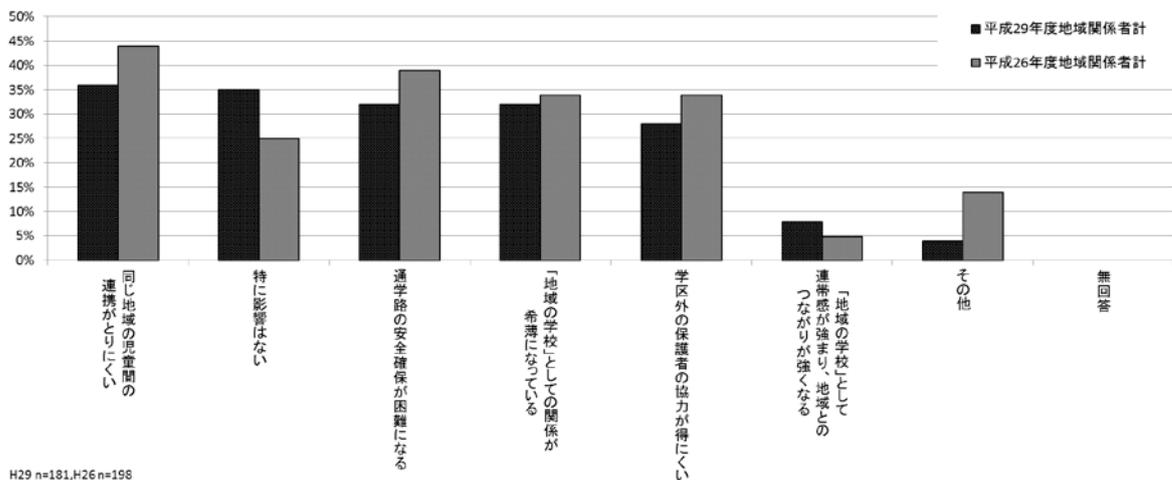
結果； 保護者は、「特に影響はない」（1,321人中826人・63%）が最も多く、次は「通学路の安全確保が困難になる」（175人・13%）となっている。

平成26年度は、同じく「特に影響はない」（2,000人中1,138人・57%）が最も多く、次は「同じ地域の児童間の連携がとりにくい」（299人・15%）となっている。



地域関係者は「同じ地域の児童間の連携がとりにくい」（181人中66人・36%）が最も多く、次は「特に影響はない」（64人・35%）となっている。

平成26年度は、同じく「同じ地域の児童間の連携がとりにくい」（198人中88人・44%）が最も多く、次は「通学路の安全確保が困難になる」（77人・39%）となっている。



② 地域との結びつきが希薄になる点について

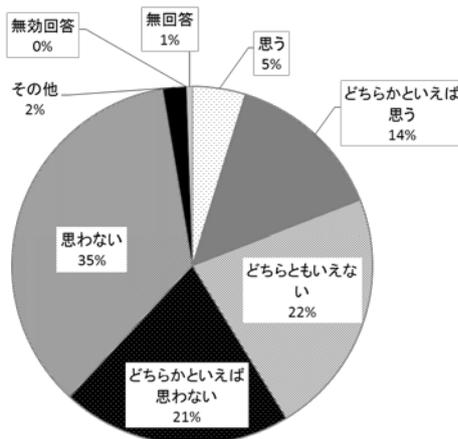
【質問：隣接制度の課題として、住んでいる地域とお子様や保護者様との結びつきが希薄になる点があがっていますが、この点についてどのように思いますか。】

対象；＜平成29年度＞平成31年及び32年に入学する児童の保護者

結果； 隣接制度の利用を希望する保護者は、「思わない」（189人中67人・35％）が最も多く、次は「どちらともいえない」（42人・22％）となっている。

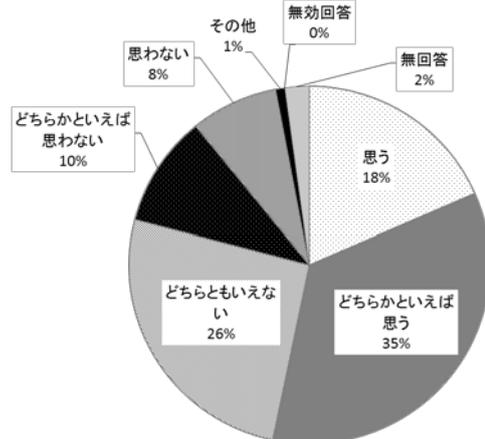
指定校に入学予定の（隣接制度の利用を希望しない）保護者は、「どちらかといえば思う」（368人中128人・35％）が最も多く、次は「どちらともいえない」（95人・26％）となっている。

隣接制度の利用を希望する保護者計



n=189

隣接制度の利用を希望しない保護者計



n=368

(10) 隣接制度のあり方について

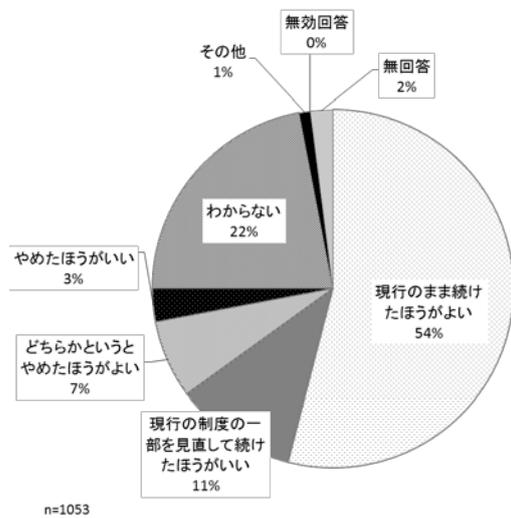
【質問：今後の目黒区の隣接学校希望入学制度について、あなたのご意見を伺います。】

対象；＜平成29年度＞平成31年及び32年に入学する児童の保護者
 区立小学校第1学年の保護者
 地域関係者

＜平成26年度＞区立小学校第1、2、3学年の保護者、
 区立小学校第4、5、6学年の保護者（PTA委員のみ）、
 地域関係者

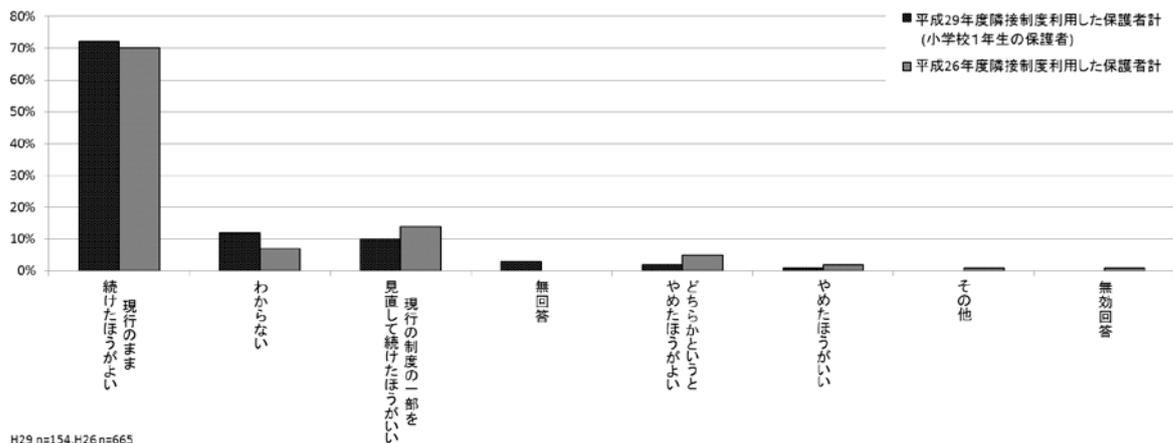
結果；平成31年及び32年に入学する児童の保護者は、「現行のまま続けたほうがよい」（1,053人中568人・54%）が最も多く、次は「わからない」（233人・22%）となっている。

平成31年及び32年に入学する保護者計



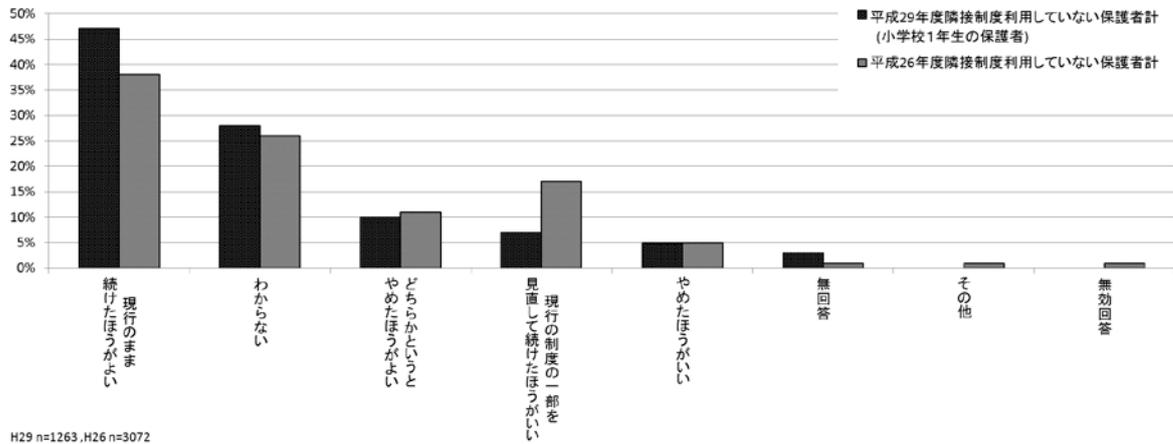
隣接制度を利用した小学校第1学年の保護者は、「現行のまま続けたほうがよい」（154人中111人・72%）が最も多く、次は「わからない」（19人・12%）となっている。

平成26年度は、同じく「現行のまま続けたほうがよい」（665人中462人・70%）が最も多く、次は「現行の制度の一部を見直して続けたほうがよい」（93人・14%）となっている。



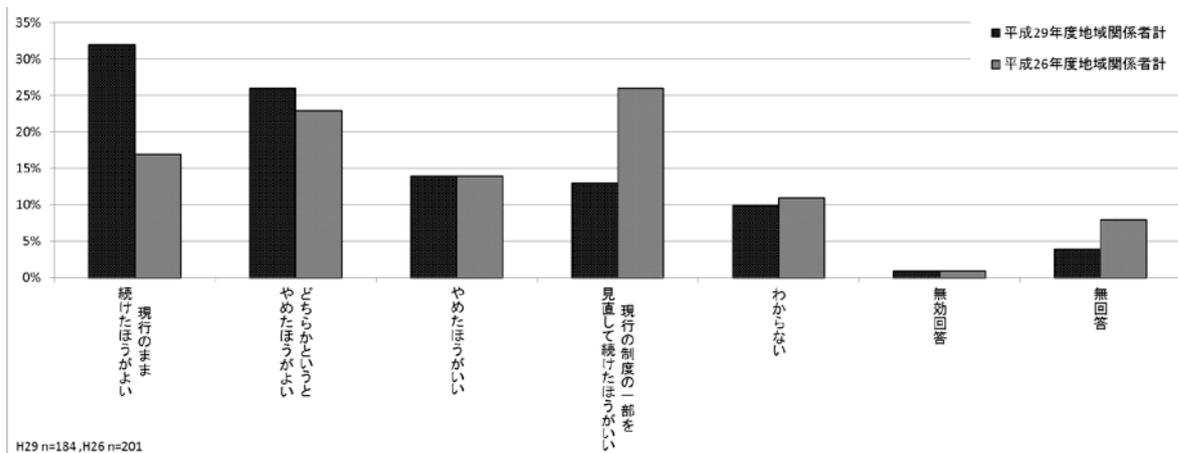
隣接制度を利用していない小学校第1学年の保護者は、「現行のまま続けたほうがよい」（1,263人中599人・47%）が最も多く、次は「わからない」（348人・28%）となっている。

平成26年度は、同じく「現行のまま続けたほうがよい」（3,072人中1,171人・38%）が最も多く、次は「わからない」（810人・26%）となっている。



地域関係者は、「現行のまま続けたほうがよい」（184人中60人・32%）が最も多く、次は「どちらかというとやめたほうがよい」（48人・26%）となっている。

平成26年度は、「現行の制度の一部を見直して続けたほうがよい」（201人中53人・26%）が最も多く、次は「どちらかというとやめたほうがよい」（47人・23%）となっている。



現行の隣接制度をどのように見直すかについて

【小学校保護者の意見】 総件数； 201件

	主な意見（要旨）	同様意見 件数
1	隣接制度があったとしても、受入れを行っていないければ隣接制度の意味がないので、施設を整え毎年全校で実施する。	45
2	特殊な場合（いじめ・指定校から家が遠いなど）のみ、隣接制度を利用できるようにする。	32
3	各学校の児童数・学級数のバラつきがあるので、どの学校も偏ることのないよう調整する。	24
4	他区や隣接していない地域の学校にも通えるような、より自由な隣接制度にする。	17
5	通学の安全が確保できるような体制をとる。	10
6	指定校しか選べない地域や、受入れが行われていない学校がある現状では不公平であるので、学校間にある、設備や教育等の格差をなくす。	9
7	隣接制度のメリットや各学校の特色の比較等、さまざまな情報を積極的に発信する。	9
8	通学区域を見直す。	8
9	不公平感をなくすため、希望する児童全員が希望校に入学できる隣接制度にする。	7
10	児童の安全を一番と考え、隣接校とされていても、家から学校まで何 km、何分以内など制限をつける。	7
11	いじめがあった時や学校の方針と合わない場合、入学後も編入できるように、この隣接制度を認める。	6
12	評判の良い学校に児童が集中することを避けるために、どの学校も特色を出すようにする。	5
13	防災や安全の問題からも、通学している学校の学童クラブに入れるようにする。	4
14	兄弟が（卒業している場合も）同じ学校へ通えるようにする。	4
15	兄弟が隣接制度ですでに入学している場合、優先的に入学できるのは不公平であるので、すべて平等にする。	4
16	学校設備を整えてから、児童数を決める。	4
17	「入」と「出」が多い学校は、その原因を検討し、公表する。	3
18	抽選は不透明かつ不確かで、子供もストレスになるので、それ以外の方法で決める。	3

主な自由意見について

【小学校保護者の自由意見】総件数；601件

	主な自由意見（要旨）	同様意見 件数
1	選択できることは重要であり、継続して欲しい。（改善要望を含む）	186
2	特殊な場合（いじめ・指定校から家が遠い等）を除いて必要ない。	54
3	隣接制度は必要ない。	51
4	その年によって受入れが可能な学校、不可能な学校があるのは不公平であり、また全ての学校（区域）で実施されていないのあれば不公平である。	48
5	隣接制度によって、各学校の児童数・学級数のバラつきを助長していることが心配。	37
6	本来であれば、すべての学校が同じ水準の教育、指導、課外活動、通学の安全が保たれるべきであり、そうであればこのような隣接制度は必要ない。	28
7	うわさや風評が多いので心配になり、また、それにより学校を選んでいる状況がある。	25
8	隣接制度を利用することにより、地域とのつながりや、近所の友達が出来なくなってしまふのが残念。	25
9	学校によって、設備や行事に格差があるのはおかしい。	15
10	他区や隣接していない地域の学校にも通える隣接制度にして欲しい。	15
11	ホームページ等で隣接制度について、もっとわかりやすく情報発信をして欲しい。	15
12	兄弟が同じ学校へ通えるように配慮して欲しい（行事やPTAで学校に行かなければならない場合、それぞれの学校へ行かなくてはならなくなるため）。	15
13	児童の通学上の安全が優先されるべきで、通学の安全性以外の理由で学校を選ぶ事に違和感を覚える。	14
14	「入」と「出」が多い学校は、その原因を分析し公表し、改善策を講じるべき。	11
15	各学校の特色や行事等を、保護者や児童が比較できるような資料を作って欲しい。それによって、各学校も切磋琢磨しあえるとなお良い。	11
16	このアンケートで隣接制度のことを知り、よくわからない。	8
17	児童数が少ない学校は統廃合した方が良い。	7
18	編入時にもこの隣接制度を認めて欲しい。	6
19	隣接制度を利用した場合、その学校の学童クラブに入れるようにして欲しい。	3
20	通いたい学校を決め居住地を決めているので、学区の変更がないようお願いしたい。	2
21	通いたい学校があるならば、引越しをすればいい。	2
22	通っている幼稚園や保育園がある地域の学校に、隣接制度を利用して入れると良い。	1
23	隣接制度を利用した児童は、そのまま隣接校区の中学校へ入れて欲しい。（現状だと再度抽選となるため）	1
24	テストを行い、希望の学校へ行けるようにして欲しい。	1
	特になし	20

2 中学校

(1) 選択の状況について

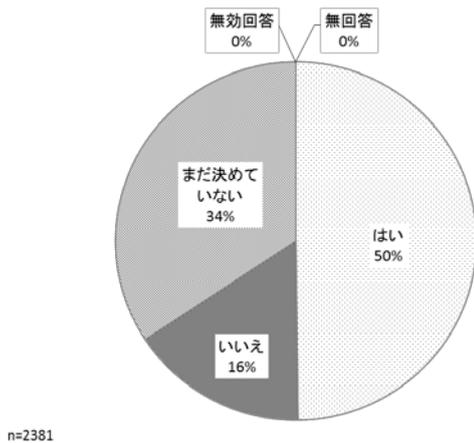
① 区立学校への入学希望について

【質問：お子様は区立中学校への入学を希望されていますか。】

対象；＜平成29年度＞区立小学校第4、5学年の保護者

結果； 「はい」(2,381人中1,192人・50%)が最も多く、次は「まだ決めていない」(820人・34%)となっている。

小学校4・5年生の保護者計



② 隣接制度の利用について

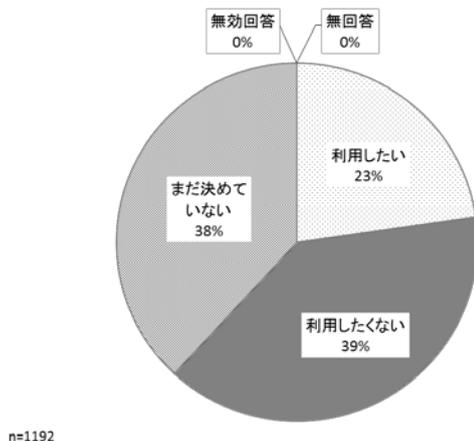
【質問：お子様は、隣接中学校希望入学制度（以下「隣接制度」という。）を利用して入学されましたか。／お子様の入学時には、隣接中学校希望入学制度（以下「隣接制度」という。）を利用したいと思いますか。】

対象；＜平成29年度＞区立小学校第4、5学年の保護者（区立中学校入学希望者）
区立中学校第1学年の保護者

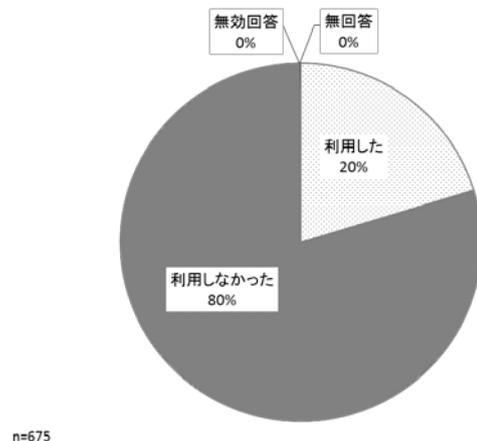
結果； 区立中学校入学を希望している小学校第4、5学年の保護者は、「利用したくない」(1,192人中467人・39%)が最も多く、次は「まだ決めていない」(454人・38%)となっている。

中学校1年生の保護者は、「利用しなかった」(675人中536人・80%)が最も多く、次は「利用した」(138人・20%)となっている。

区立中学校入学を希望している
小学校4・5年生の保護者計



中学校1年生の保護者計



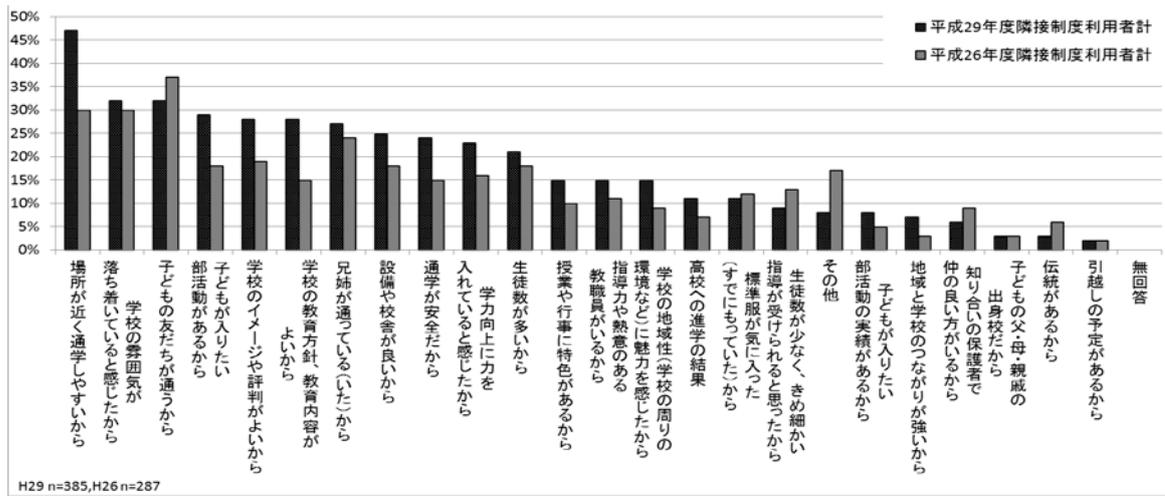
③ 【隣接制度利用者】現在の学校（希望する学校）への入学理由（複数回答可）

【質問：現在の学校に入学することにした理由は何ですか。／入学を希望する学校を選ぶときの理由は何ですか。】

対象；＜平成29年度＞区立小学校第4、5学年の保護者
 区立中学校第1学年の保護者
 ＜平成26年度＞区立中学校第1、2学年の保護者
 区立中学校第3学年の保護者（PTA委員のみ）

結果；「場所が近く通学しやすいから」（385人中181人・47％）が最も多く、次は「学校の雰囲気が落ち着いていると感じたから」（124人・32％）となっている。

平成26年度は、「子どもの友だちが通うから」（287人中106人・37％）が最も多く、次は「場所が近く通学しやすいから」（85人・30％）と「学校の雰囲気が落ち着いていると感じたから」（85人・30％）が同数となっている。



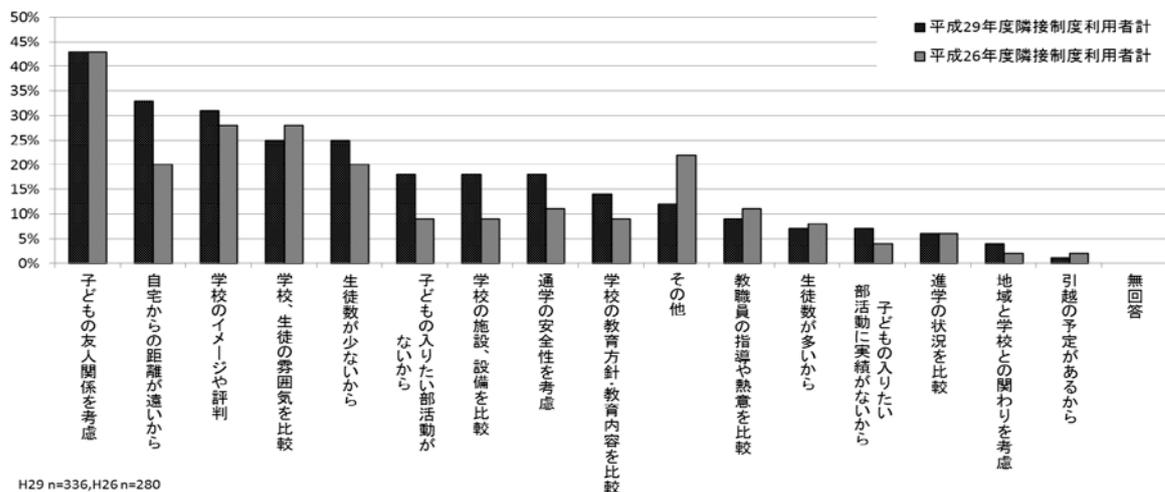
④ 【隣接制度利用者】指定校を選ばなかった理由（複数回答可）

【質問：お住まいの学区の学校（指定校）を選ばなかった（選ばない）理由は何ですか。】

対象；＜平成29年度＞区立小学校第4、5学年の保護者
 区立中学校第1学年の保護者
 ＜平成26年度＞区立中学校第1、2学年の保護者
 区立中学校第3学年の保護者（PTA委員のみ）

結果；「子どもの友人関係を考慮」（336人中145人・43％）が最も多く、次は「自宅からの距離が遠いから」（111人・33％）となっている。

平成26年度は、同じく「子どもの友人関係を考慮」（280人中121人・43％）が最も多く、次は「学校のイメージや評判」（79人・28％）となっている。



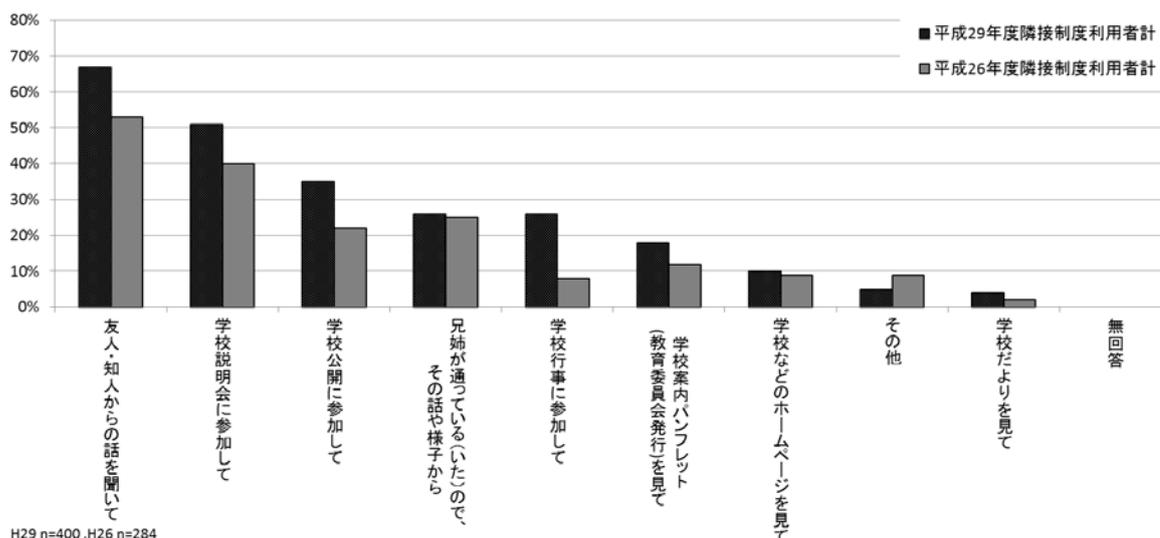
⑤ 【隣接制度利用者】学校を決める際に役立った情報（複数回答可）

【質問：学校を決める際にどの情報が役に立ちましたか。／学校を決める際にどのような情報を参考にされますか。】

対象；＜平成29年度＞区立小学校第4、5学年の保護者
区立中学校第1学年の保護者
＜平成26年度＞区立中学校第1、2学年の保護者
区立中学校第3学年の保護者（PTA委員のみ）

結果；「友人・知人からの話を聞いて」（400人中266人・67％）が最も多く、次は「学校説明会に参加して」（202人・51％）となっている。

平成26年度は、同じく「友人・知人からの話を聞いて」（284人中150人・53％）が最も多く、次は「学校説明会に参加して」（114人・40％）となっている。



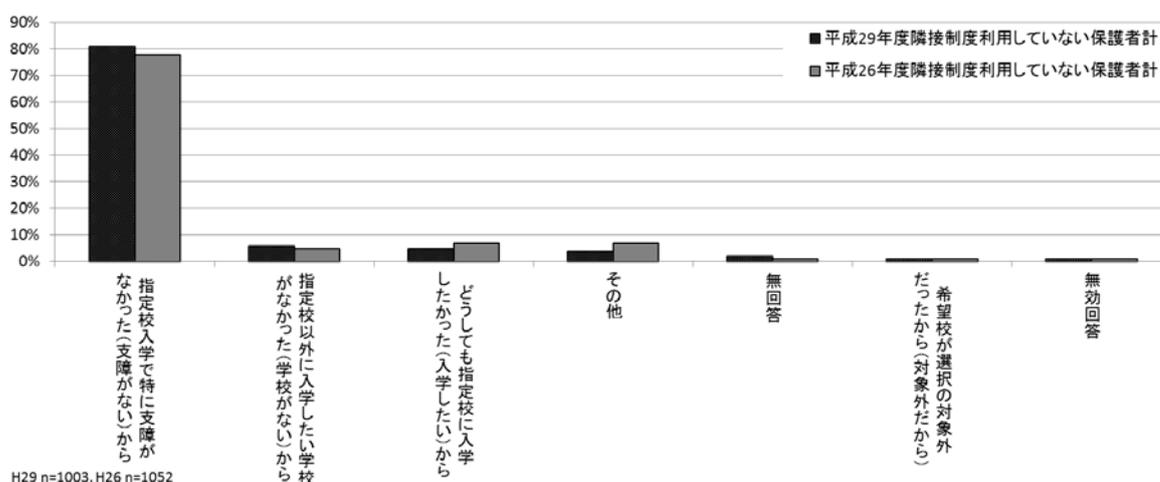
⑥ 【指定校入学】隣接制度を利用しない理由

【質問：利用しなかったのはなぜですか？／利用したくない理由は何ですか。】

対象；＜平成29年度＞区立小学校第4、5学年の保護者
区立中学校第1学年の保護者
＜平成26年度＞区立中学校第1、2学年の保護者
区立中学校第3学年の保護者（PTA委員のみ）

結果；「指定校入学で特に支障がなかった（支障がない）から」（1,003人中813人・81％）が最も多く、次は「指定校以外に入学したい学校がなかった（学校がない）から」（54人・6％）となっている。

平成26年度は、「指定校入学で特に支障がなかった（支障がない）から」（1,052人中827人・78％）が最も多く、次は「その他」（74人・7％）となっている。



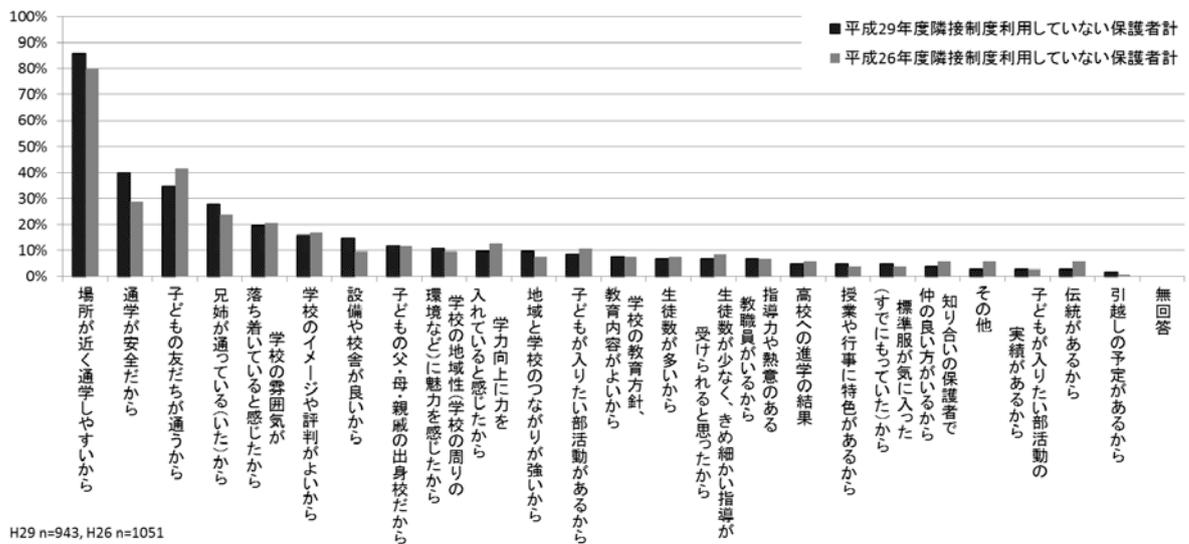
⑦ 【指定校入学者】現在の学校への入学理由（複数回答可）

【質問：現在の学校に入学することにした理由は何ですか。／入学を希望する学校を選ぶときの理由は何ですか。】

対象；＜平成29年度＞区立小学校第4、5学年の保護者
区立中学校第1学年の保護者
＜平成26年度＞区立中学校第1、2学年の保護者
区立中学校第3学年の保護者（PTA委員のみ）

結果；「場所が近く通学しやすいから」（943人中813人・86％）が最も多く、次は「通学が安全だから」（374人・40％）となっている。

平成26年度は、同じく「場所が近く通学しやすいから」（1,051人中846人・80％）が最も多く、次は「子どもの友だちが通うから」（443人・42％）となっている。



H29 n=943, H26 n=1051

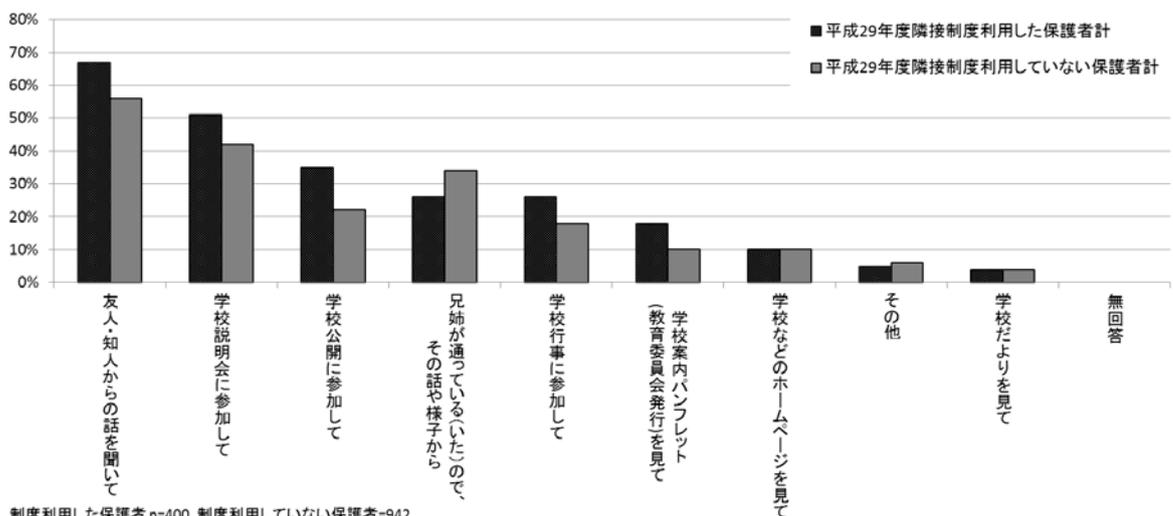
⑧ 【隣接制度利用者および指定校入学者】学校を決める際に役立った情報（複数回答可）

【質問：学校を決める際にどの情報が役に立ちましたか。／学校を決める際にどのような情報を参考にされますか。】

対象；＜平成29年度＞区立小学校第4、5学年の保護者
区立中学校第1学年の保護者

結果；隣接制度を利用した保護者は、「友人・知人からの話を聞いて」（400人中266人・67％）が最も多く、次は「学校説明会に参加して」（202人・51％）となっている。

指定校入学の（隣接制度を利用していない）保護者は、同じく「友人・知人からの話を聞いて」（942人中525人・56％）が最も多く、次は「学校説明会に参加して」（396人・42％）となっている。



制度利用した保護者 n=400, 制度利用していない保護者=942

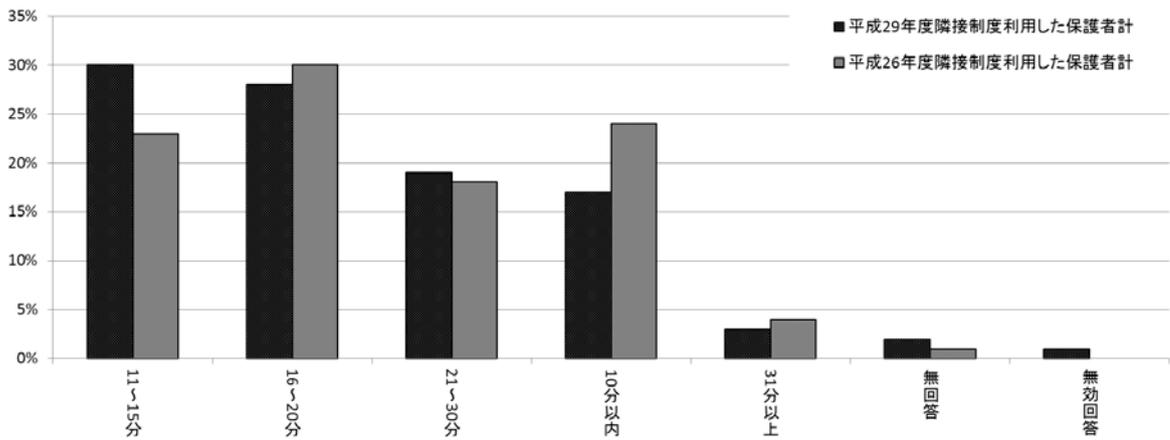
(2) 通学の安全について

① 通学時間

【質問：お子様の通学時間は、どのくらいですか。／希望校に入学した場合、お子様の通学時間は、どのくらいですか。】

対象；<平成29年度>区立小学校第4、5学年の保護者
区立中学校第1学年の保護者
<平成26年度>区立中学校第1、2学年の保護者

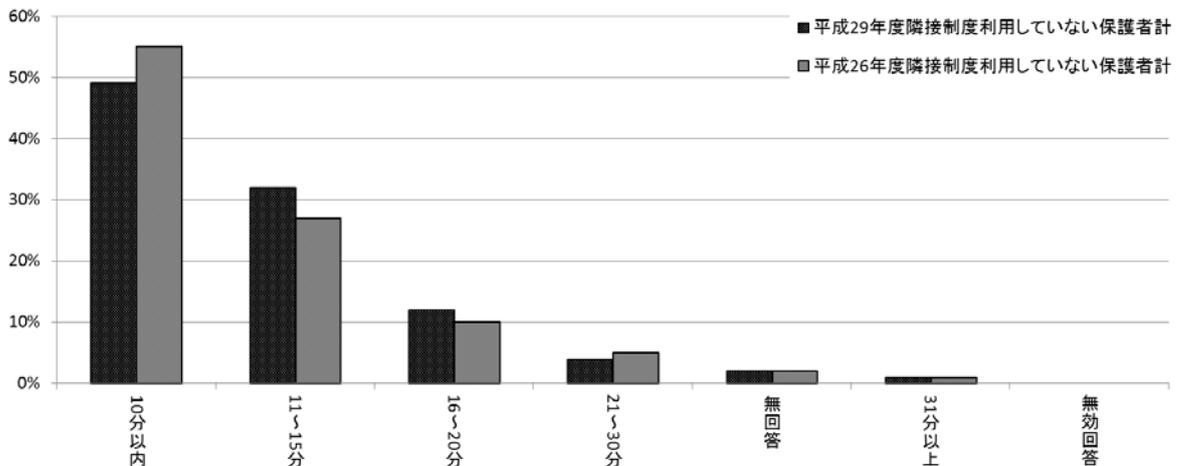
結果； 隣接制度を利用した保護者は、「11～15分」（409人中122人・30％）が最も多く、次は「16～20分」（114人・28％）となっている。
平成26年度は、「16～20分」（265人中77人・30％）が最も多く、次は「10分以内」（64人・24％）となっている。



H29 n=409, H26 n=265

指定校入学の（隣接制度を利用していない）保護者は、「10分以内」（1,003人中486人・49％）が最も多く、次は「11～15分」（321人・32％）となっている。

平成26年度は、同じく「10分以内」（959人中524人・55％）が最も多く、次は「11分～15分」（258人・27％）となっている。



H29 n=1003, H26 n=959

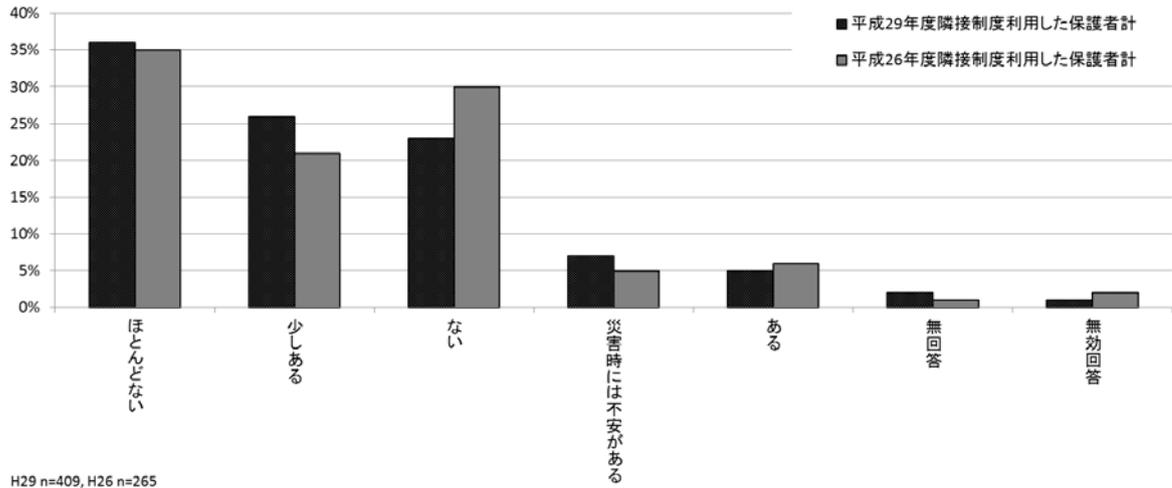
② 通学上の不安

【質問：隣接制度の導入の課題として、通学上の安全があがっていますが、お子様の通学について不安はありますか。】

対象；＜平成29年度＞区立小学校第4、5学年の保護者
区立中学校第1学年の保護者
＜平成26年度＞区立中学校第1、2学年の保護者

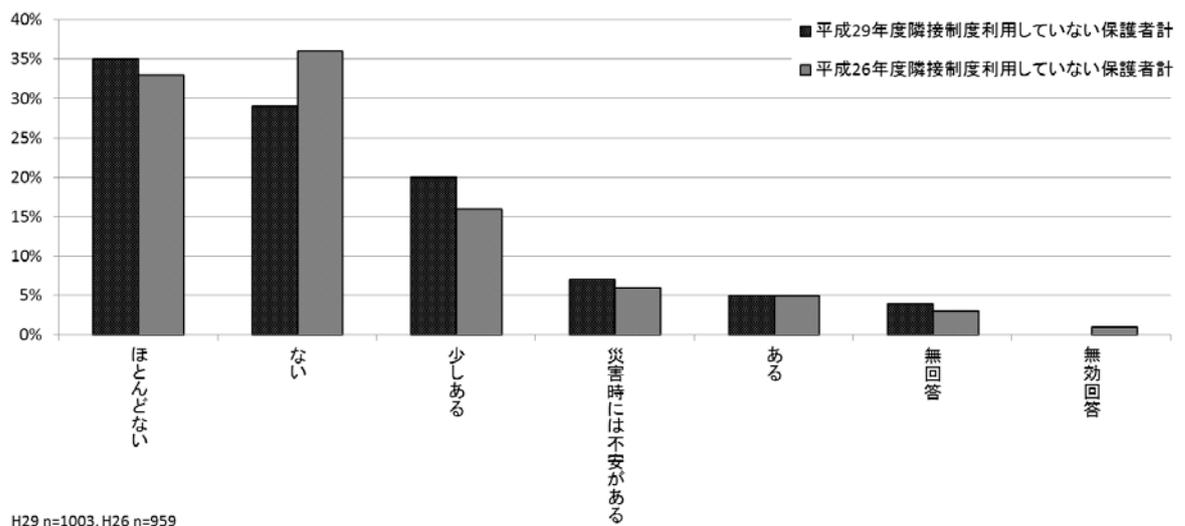
結果； 隣接制度を利用した保護者は、「ほとんどない」（409人中149人・36％）が最も多く、次は「少しある」（105人・26％）となっている。

平成26年度は、同じく「ほとんどない」（265人中94人・35％）が最も多く、次は「ない」（79人・30％）となっている。



指定校入学の（隣接制度を利用していない）保護者は、「ほとんどない」（1,003人中349人・35％）が最も多く、次は「ない」（286人・29％）となっている。

平成26年度は、「ない」（959人中350人・36％）が最も多く、次は「ほとんどない」（314人・33％）となっている。



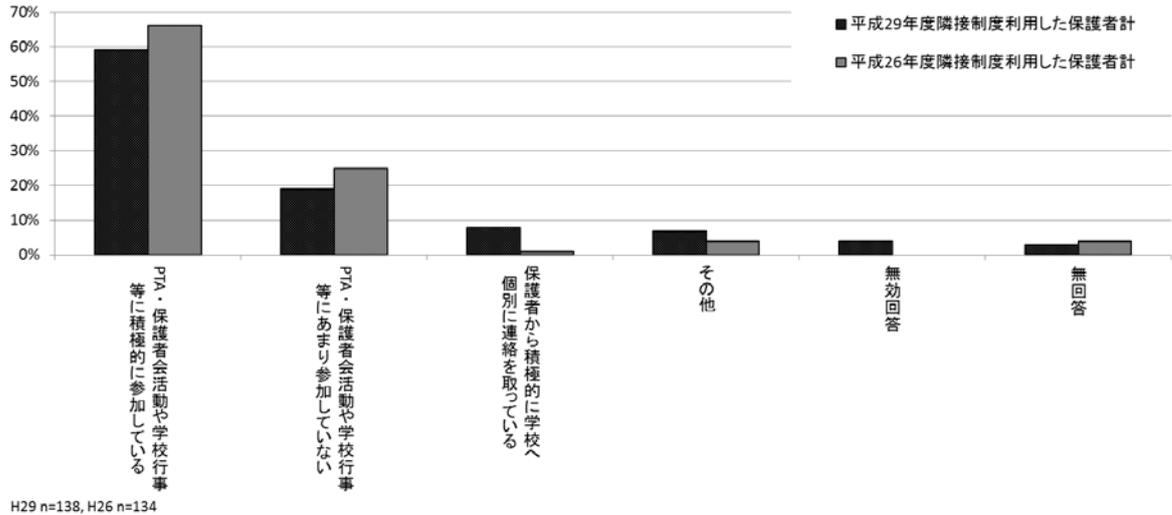
(3) 学校行事等への参加状況について

【質問：お子様が入学した学校について、保護者としてどのようなかわりをしていますか。】

対象； <平成29年度>区立中学校第1学年の保護者
<平成26年度>区立中学校第2学年の保護者

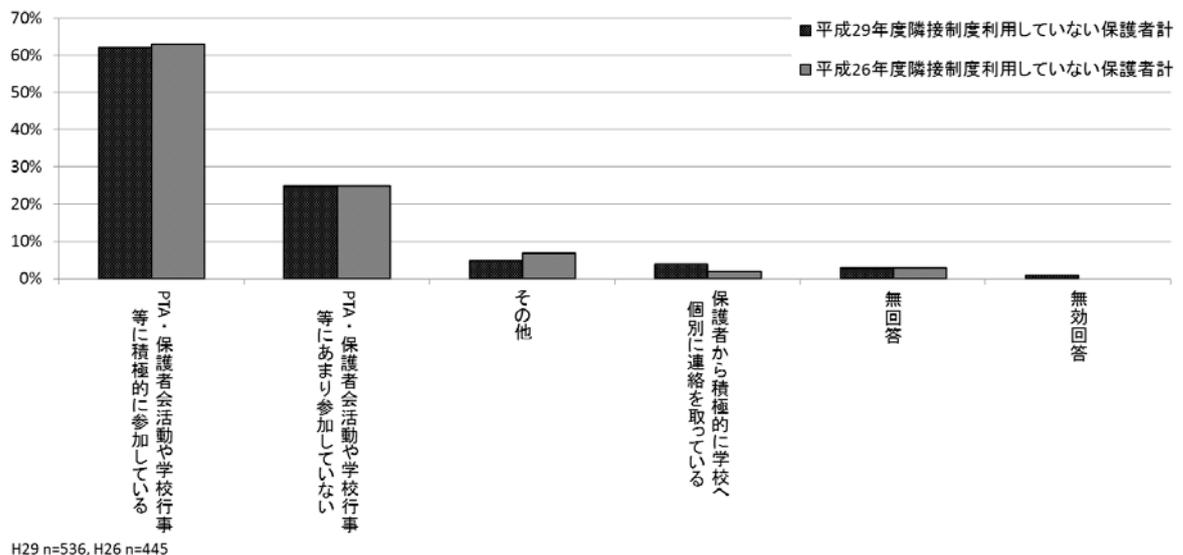
結果； 隣接制度を利用した保護者は、「PTA・保護者会活動や学校行事等に積極的に参加している」（138人中81人・59％）が最も多く、次は「PTA・保護者会活動や学校行事等にあまり参加していない」（26人・19％）となっている。

平成26年度は、同じく「PTA・保護者会活動や学校行事等に積極的に参加している」（134人中89人・66％）が最も多く、次は「PTA・保護者会活動や学校行事等にあまり参加していない」（34人・25％）となっている。



指定校入学の（隣接制度を利用していない）保護者は、「PTA・保護者会活動や学校行事等に積極的に参加している」（536人中334人・62％）が最も多く、次は「PTA・保護者会活動や学校行事等にあまり参加していない」（131人・25％）となっている。

平成26年度は、同じく「PTA・保護者会活動や学校行事等に積極的に参加している」（445人中278人・63％）が最も多く、次は「PTA・保護者会活動や学校行事等にあまり参加していない」（112人・25％）となっている。



(4) 学校の特色、魅力づくりの状況について

【質問：隣接制度導入は、「児童、生徒、保護者及び学校職員等の教育活動や学校運営に対する意識をより高め、学校教育の活性化と多様化を促し、学校の特色・魅力づくりを推進する」ことを目的としていますが、あなたの学校では、学校の特色・魅力づくりが今まで以上に進んでいると思いますか。】

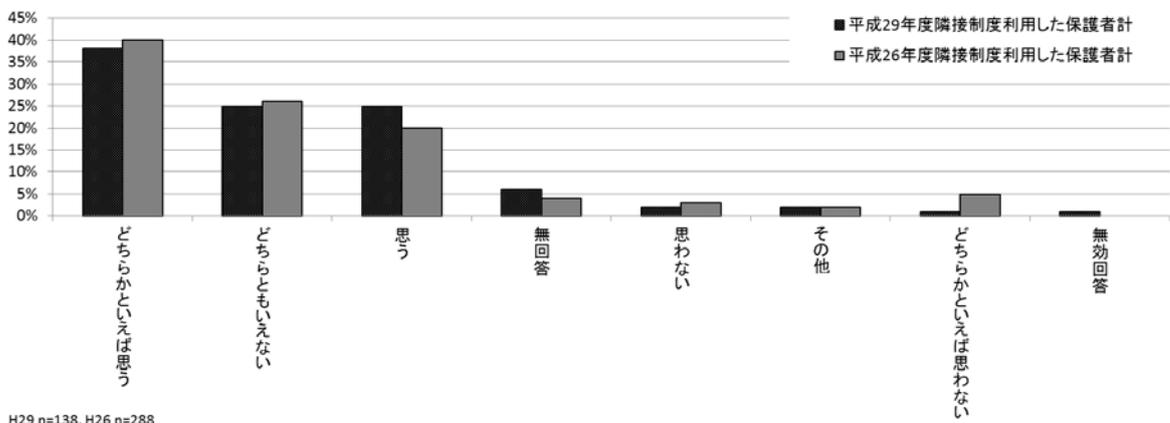
対象；＜平成29年度＞区立中学校第1学年の保護者

＜平成26年度＞区立中学校第1、2学年の保護者

区立中学校第3学年の保護者（PTA委員のみ）

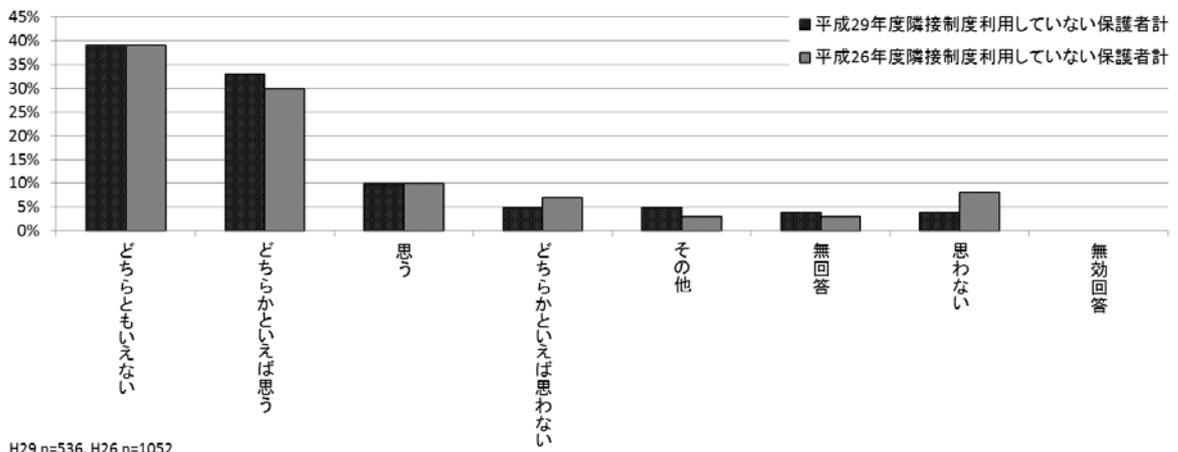
結果； 隣接制度を利用した保護者は、「どちらかといえば思う」（138人中51人・38％）が最も多く、次は「思う」（35人・25％）と「どちらともいえない」（35人・25％）が同数となっている。

平成26年度は、同じく「どちらかといえば思う」（288人中116人・40％）が最も多く、次は「どちらともいえない」（74人・26％）となっている。



指定校入学の（隣接制度を利用していない）保護者は、「どちらともいえない」（536人中211人・39％）が最も多く、次は「どちらかといえば思う」（179人・33％）となっている。

平成26年度は、同じく「どちらともいえない」（1,052人中407人・39％）が最も多く、次は「どちらかといえば思う」（310人・30％）となっている。



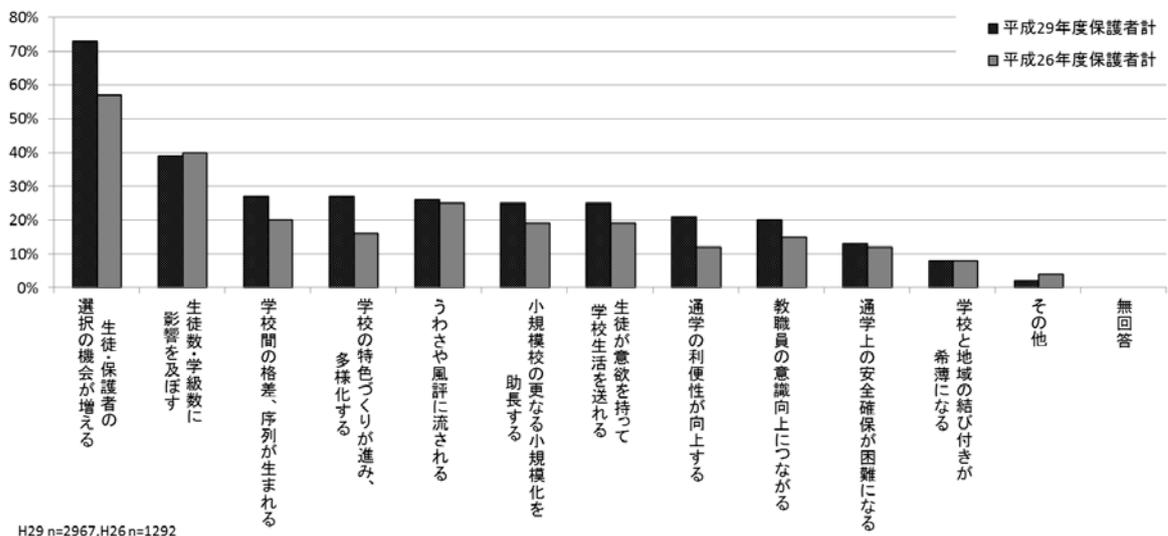
(5) 隣接制度導入による全般的な影響について（複数回答可）

【質問：（お子様の学校では／あなたの地域の学校では）隣接制度の導入により、どのような影響がある（あった）と思いますか。】

対象；＜平成29年度＞区立小学校第4、5学年の保護者
 区立中学校第1学年の保護者
 ＜平成26年度＞区立中学校第1、2学年の保護者
 区立中学校第3学年の保護者（PTA委員のみ）
 地域関係者（再掲）

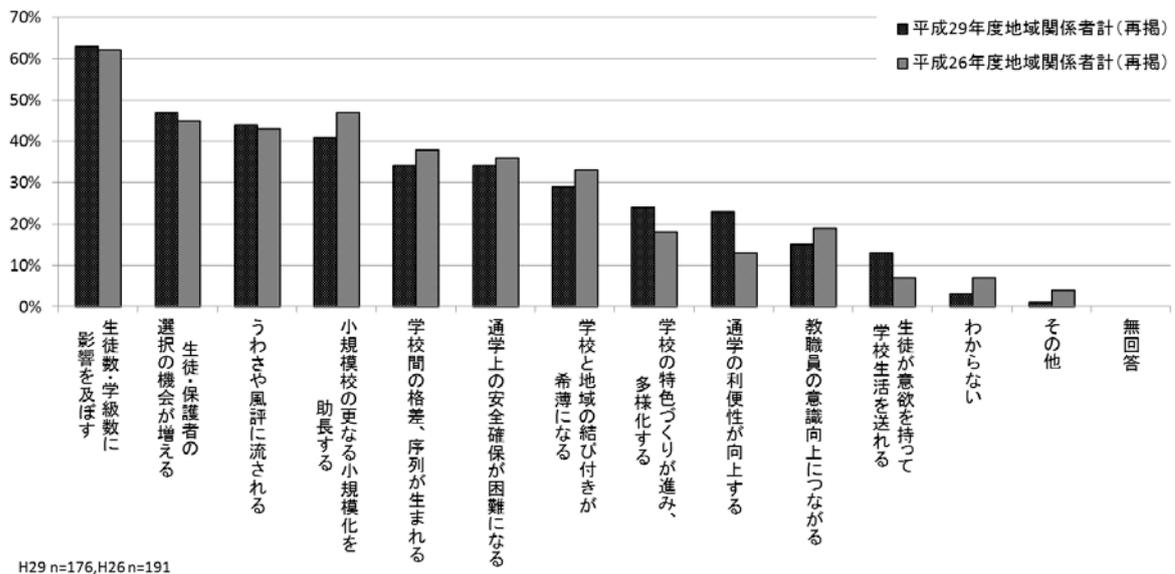
結果； 保護者は「生徒・保護者の選択の機会が増える」（2,967人中2,170人・73%）が最も多く、次は「生徒数・学級数に影響を及ぼす」（1,156人・39%）となっている。

平成26年度は、同じく「生徒・保護者の選択の機会が増える」（1,292人中741人・57%）が最も多く、次は「生徒数・学級数に影響を及ぼす」（512人・40%）となっている。



地域関係者は「生徒数・学級数に影響を及ぼす」（176人中111人・63%）が最も多く、次は「生徒・保護者の選択の機会が増える」（82人・47%）となっている。

平成26年度は、同じく「生徒数・学級数に影響を及ぼす」（191人中119人・62%）が最も多く、次は「小規模校の更なる小規模化を助長する」（89人・47%）となっている。



(6) P T A 活動等への影響

【質問：P T A 委員の方のみお答えください。あなたの学校では、隣接制度の導入により P T A 活動等への影響がある（あった）と思いますか。】

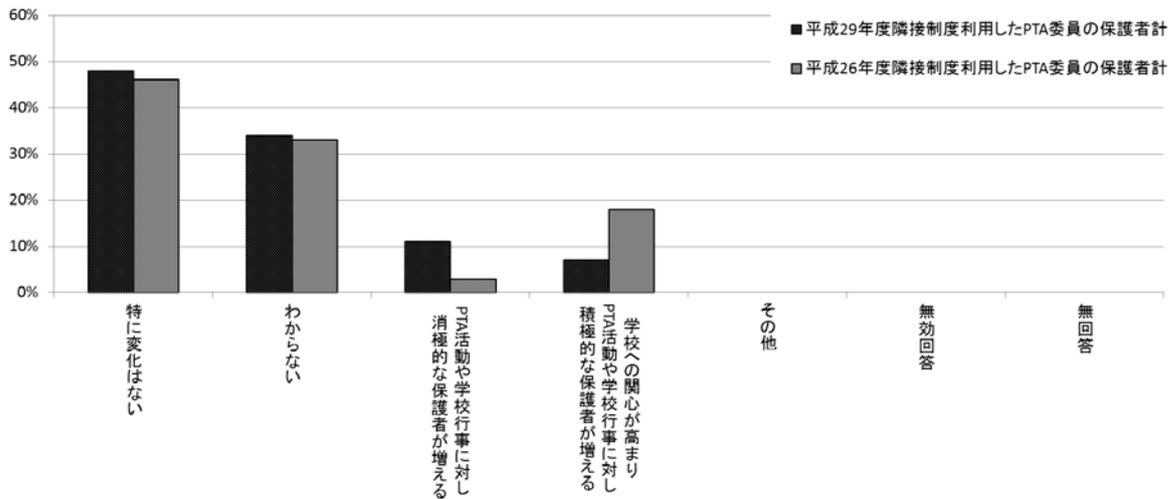
対象；＜平成29年度＞区立中学校第1学年の保護者（P T A 委員のみ）

＜平成26年度＞区立中学校第1、2学年の保護者（P T A 委員のみ）

区立中学校第3学年の保護者（P T A 委員のみ）

結果； 隣接制度を利用したP T A 委員は、「特に変化はない」（44人中21人・48％）が最も多く、次は「わからない」（15人・34％）となっている。

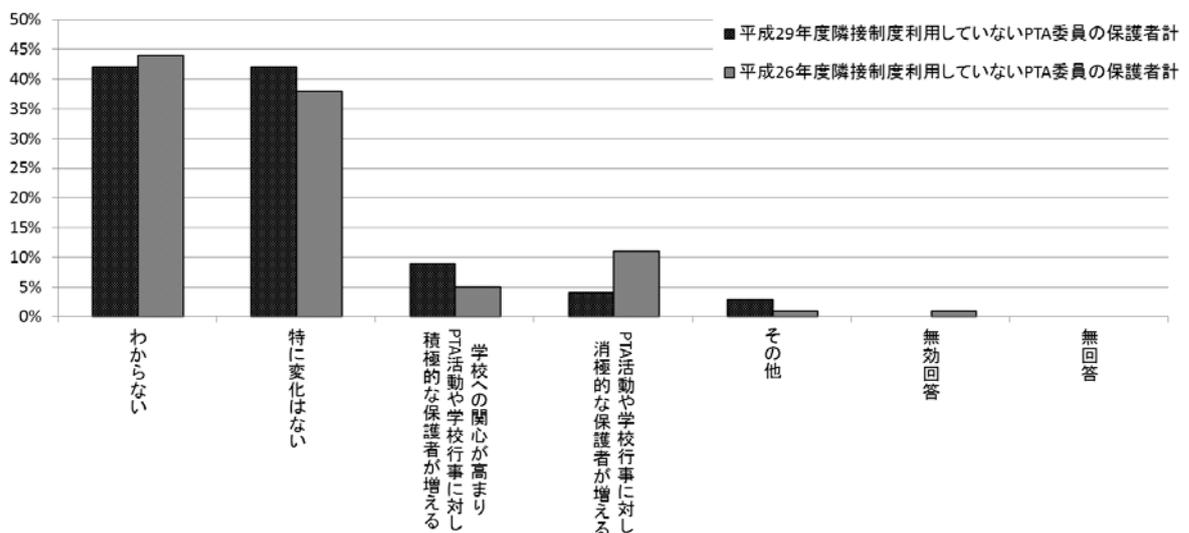
平成26年度は、同じく「特に変化はない」（102人中47人・46％）が最も多く、次は「わからない」（34人・33％）となっている。



H29 n=44, H26 n=102

指定校入学の（隣接制度を利用していない）P T A 委員は、「わからない」（172人中73人・42％）と「特に変化はない」（73人・42％）が同数で最も多くなっている。次は「学校への関心が高まり P T A 活動や学校行事に対し積極的な保護者が増える」（14人・9％）となっている。

平成26年度は、同じく「わからない」（375人中163人・44％）が最も多く、次は「特に変化はない」（143人・38％）となっている。



H29 n=172, H26 n=375

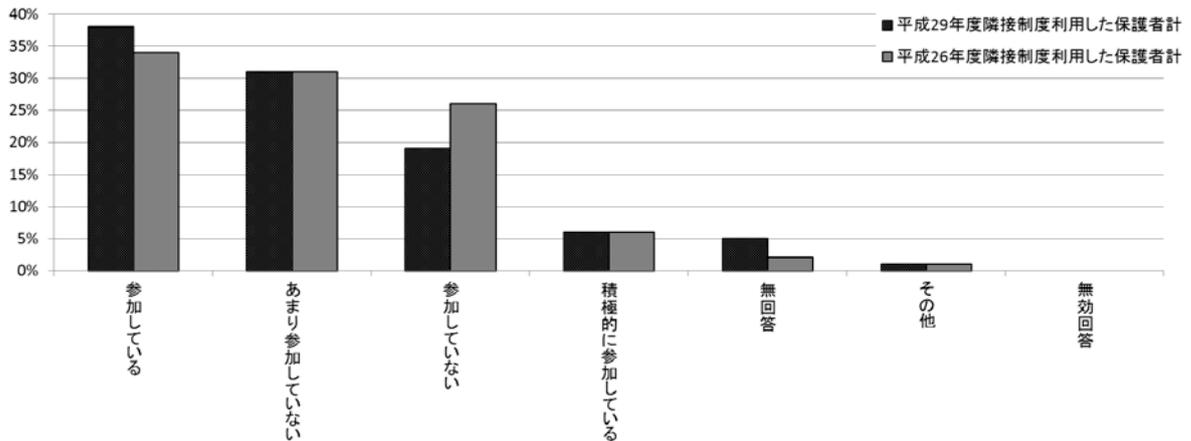
(7) 地域行事への参加度について

【質問：お子様は、通学している学校の通学区域内での地域（住区、町会・自治会、商店街等）の行事に参加していますか？】

対象； <平成29年度> 区立中学校第1学年の保護者
 <平成26年度> 区立中学校第2学年生徒の保護者

結果； 隣接制度を利用した保護者は、「参加している」（138人中52人・38%）が最も多く、次は「あまり参加していない」（43人・31%）となっている。

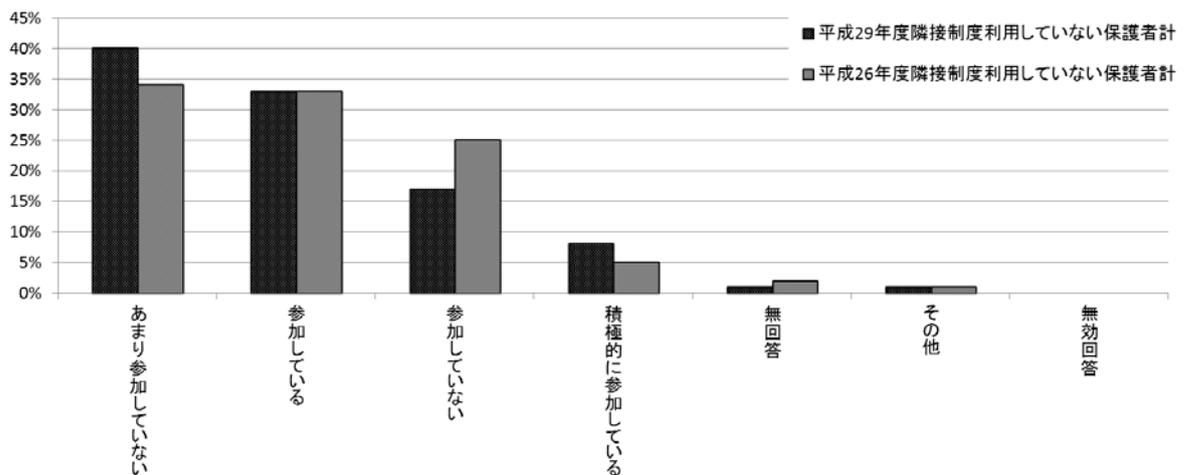
平成26年度は、同じく「参加している」（134人中46人・34%）が最も多く、次は「あまり参加していない」（41人・31%）となっている。



H29 n=138, H26 n=134

指定校入学の（隣接制度を利用していない）保護者は、「あまり参加していない」（536人中214人・40%）が最も多く、次は「参加している」（175人・33%）となっている。

平成26年度は、同じく「あまり参加していない」（445人中150人・34%）が最も多く、次は「参加している」（148人・33%）となっている。



H29 n=536, H26 n=445

(8) 地域行事の参加率への影響について

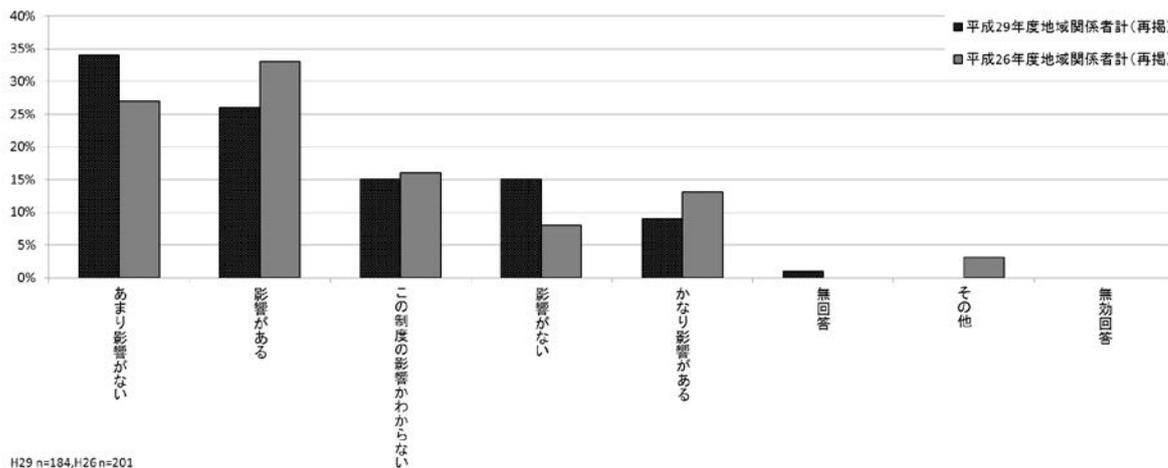
【質問：あなたの地域では、この制度により地域行事の参加率に影響がある（あった）と思いますか。】

対象；＜平成29年度＞地域関係者（再掲）

＜平成26年度＞地域関係者（再掲）

結果； 「あまり影響がない」（184人中63人・34％）が最も多く、次は「影響がある」（48人・26％）となっている。

平成26年度は、「影響がある」（201人中66人・33％）が最も多く、次は「あまり影響がない」（54人・27％）となっている。



(9) 地域とのつながりへの影響について（複数回答可）

① 隣接制度導入の影響

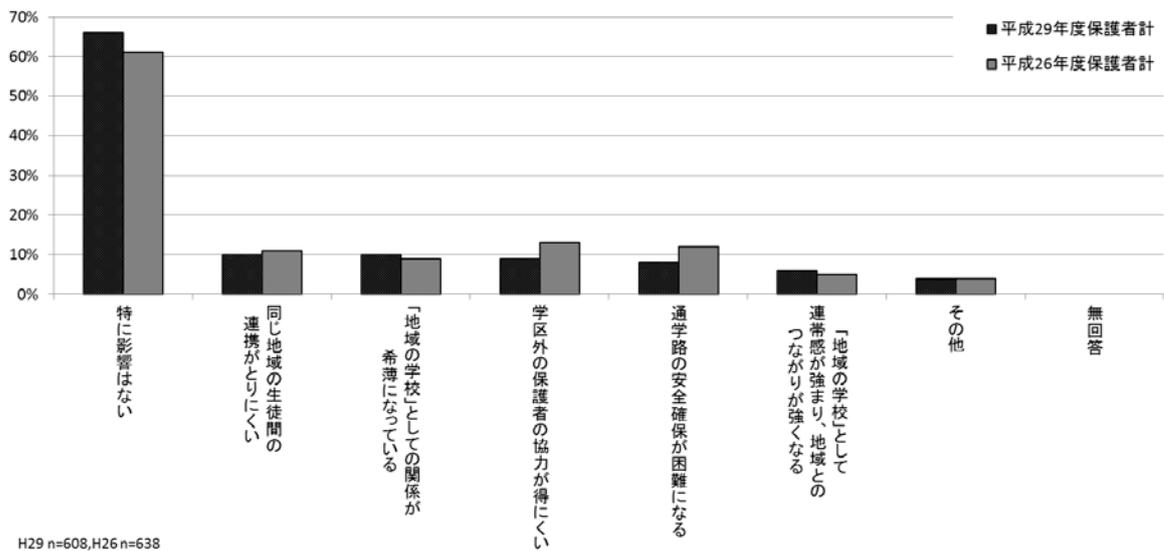
【質問：（お子様の学校では／あなたの地域では）隣接制度の導入により、地域（地域住民、住区、町会・自治会等）とのつながりにどのような影響がある（あった）と思いますか】

対象； <平成29年度> 区立中学校第1学年の保護者
地域関係者（再掲）

<平成26年度> 区立中学校第2学年の保護者
区立中学校第3学年の保護者（PTA委員のみ）
地域関係者（再掲）

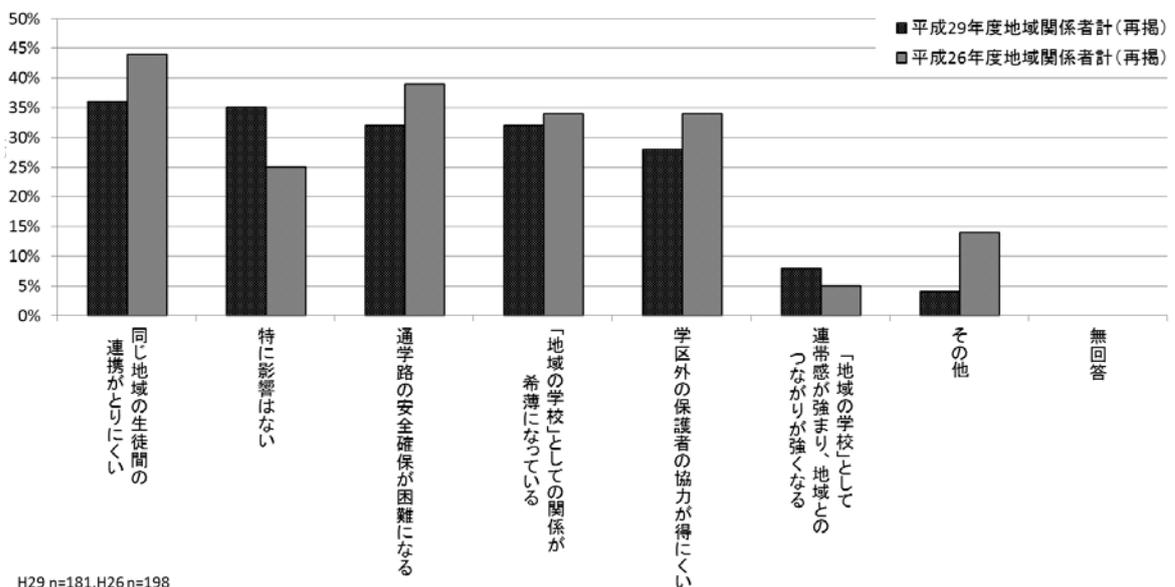
結果； 保護者は、「特に影響はない」（608人中400人・66％）が最も多く、次は「同じ地域の生徒間の連携がとりにくい」（61人・10％）となっている。

平成26年度は、同じく「特に影響はない」（638人中391人・61％）が最も多く、次は「学区外の保護者の協力が得にくい」（81人・13％）となっている。



地域関係者は「同じ地域の生徒間の連携がとりにくい」（181人中66人・36％）が最も多く、次は「特に影響はない」（64人・35％）となっている。

平成26年度は、同じく「同じ地域の生徒間の連携がとりにくい」（198人中88人・44％）が最も多く、次は「通学路の安全確保が困難になる」（77人・39％）となっている。



② 地域との結びつきが希薄になる点について

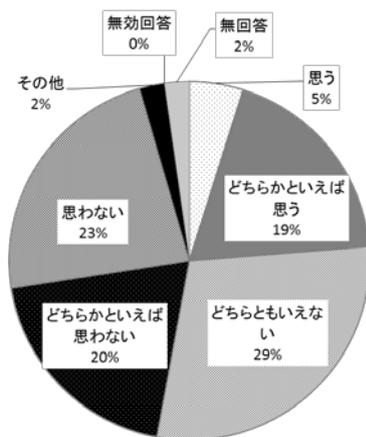
【質問：隣接制度の課題として、住んでいる地域とお子様や保護者様との結びつきが希薄になる点があがっていますが、この点についてどのように思いますか。】

対象；＜平成29年度＞区立小学校第4、5学年の保護者

結果； 隣接制度の利用を希望する保護者は、「どちらともいえない」（271人中80人・29％）が最も多く、次は「思わない」（62人・23％）となっている。

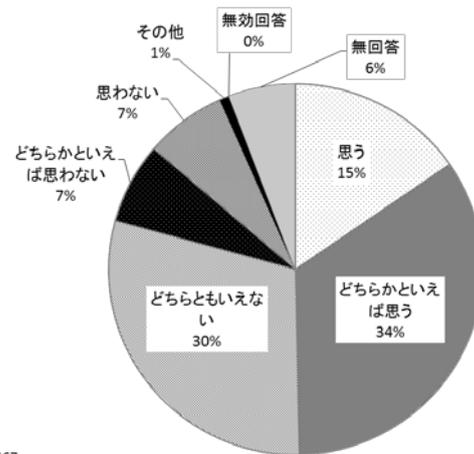
指定校に入学予定の（隣接制度の利用を希望しない）保護者は、「どちらかといえば思う」（467人中160人・34％）が最も多く、次は「どちらともいえない」（138人・30％）となっている。

隣接制度の利用を希望する保護者計



n=271

隣接制度の利用を希望しない保護者計



n=467

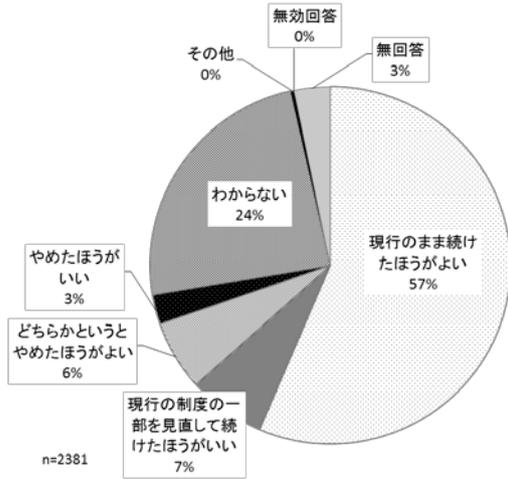
(10) 隣接制度のあり方について

【質問：今後の目黒区の隣接制度について、あなたのご意見を伺います。】

対象；<平成29年度>区立小学校第4、5学年の保護者
 区立中学校第1学年の保護者
 <平成26年度>区立中学校第1、2学年の保護者
 区立中学校第3学年の保護者（PTA委員のみ）
 地域関係者（再掲）

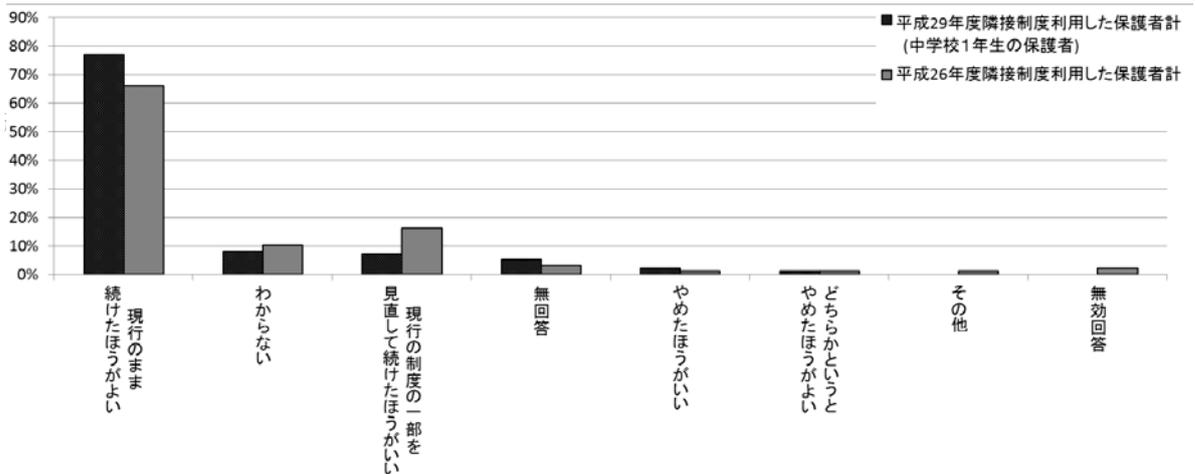
結果； 小学校第4、5学年の保護者は、「現行のまま続けたほうがよい」（2,381人中1,351人・57%）が最も多く、次は「わからない」（577人・24%）となっている。

小学校4・5年生の保護者計



隣接制度を利用した中学校第1学年の保護者は、「現行のまま続けたほうがよい」（138人中106人・77%）が最も多く、次は「わからない」（11人・8%）となっている。

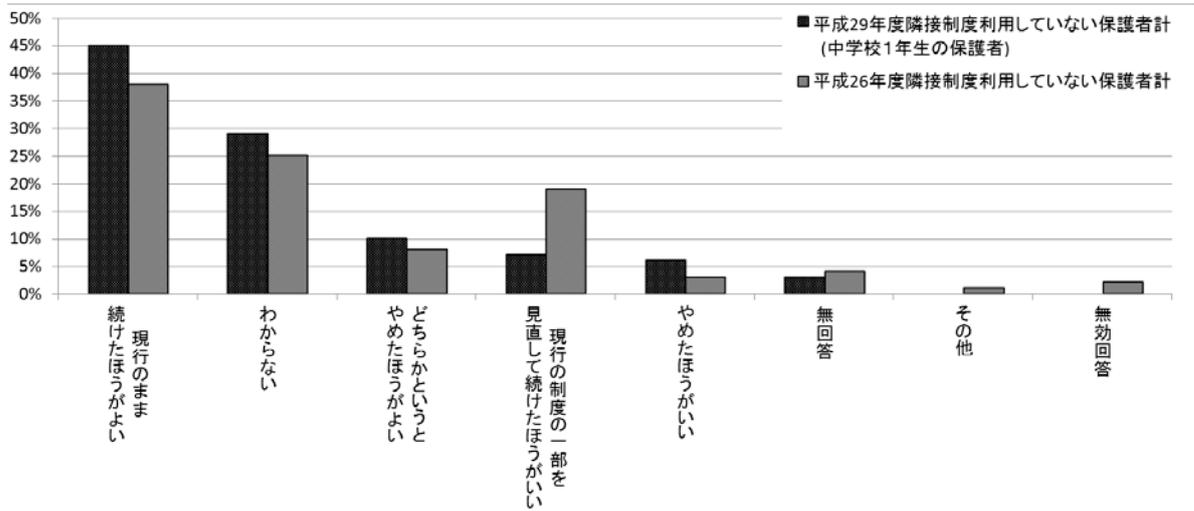
平成26年度は、同じく「現行のまま続けたほうがよい」（288人中190人・66%）が最も多く、次は「現行の制度の一部を見直して続けたほうがよい」（46人・16%）となっている。



H29 n=138, H26 n=288

指定校入学の（隣接制度を利用していない）中学校第1学年の保護者は、「現行のまま続けたほうがよい」（536人中244人・45％）が最も多く、次は「わからない」（158人・29％）となっている。

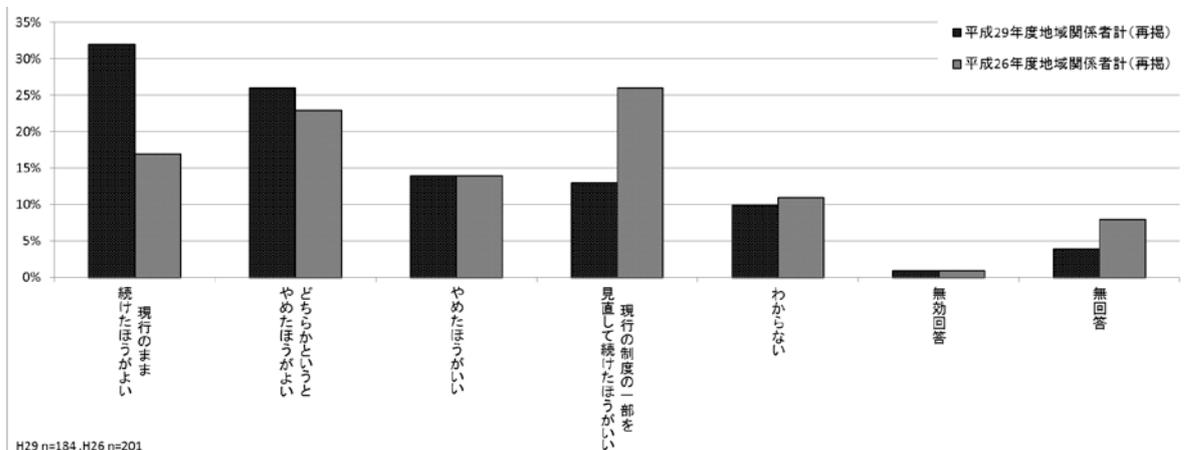
平成26年度は、同じく「現行のまま続けたほうがよい」（1,052人中397人・38％）が最も多く、次は「わからない」（268人・25％）となっている。



H29 n=536, H26 n=1052

地域関係者は、「現行のまま続けたほうがよい」（184人中60人・32％）が最も多く、次は「どちらかというをやめたほうがよい」（48人・26％）となっている。

平成26年度は、「現行の制度の一部を見直して続けたほうがよい」（201人中53人・26％）が最も多く、次は「どちらかというをやめたほうがよい」（47人・23％）となっている。



H29 n=184, H26 n=201

現行の隣接制度をどのように見直すかについて

【中学校保護者の意見】 総件数； 179件

	主な意見（要旨）	同様意見 件数
1	特殊な場合（いじめ・指定校から家が遠いなど）のみ、隣接制度を利用できるようにする。	50
2	各学校の生徒数・学級数のバラつきがあるので、どの学校も偏ることのないよう調整する。	30
3	他区や隣接していない地域の学校にも通えるような、より自由な隣接制度にする。	20
4	通学区域を見直す。	15
5	生徒の安全を一番と考え、隣接校とされていても、家から学校まで何km、何分以内など制限をつける。	9
6	小学校は隣接制度を廃止し、中学校のみ隣接制度を残す。	9
7	隣接制度のメリットや各学校の特色の比較等、さまざまな情報を積極的に発信する。	8
8	隣接制度があったとしても、受入れを行っていないければ隣接制度の意味がないので、毎年全校で実施する。	7
9	いじめがあった時や学校の方針と合わない場合、入学後も編入できるように、この隣接制度を認める。	4
10	抽選は不透明かつ不確かで、子供もストレスになるので、それ以外の方法で決める。	4
11	不公平感をなくすため、希望する児童全員が希望校に入学できる隣接制度にする。	4
12	評判の良い学校に生徒が集中することを避けるために、どの学校も特色を出すようにする。	4
13	指定校しか選べない地域や、受入れが行われていない学校がある現状では不公平であるので、学校間にある、設備や教育等の格差をなくす。	3
14	兄弟が（卒業している場合も）同じ学校へ通えるようにする。	3
15	隣接制度を利用した生徒の、部活動までの一時帰宅や、遠方からの通学者の通学手段等を見直す。	3
16	通学の安全が確保できるような体制をとる。	2
17	隣接制度のせいで、学校や先生が忙しすぎるので、配慮が必要。	2
18	入学決定の時期が遅いので、もっと早い時期に対応する。	1
19	小学校と隣接校とのつながりが薄く、地域との関係、学習進度等の情報が少なく不利であるので、小学校と隣接校とのつながりを強くする。	1

【地域関係者の意見】 総件数； 21件

	主な意見（要旨）	同様意見 件数
1	各学校の児童数・学級数のバラつきがあるので、どの学校も偏ることのないよう調整する。	5
2	小学校は隣接制度を廃止し、中学校のみ隣接制度を残す。	5
3	特殊な場合（いじめ・指定校から家が遠いなど）のみ、隣接制度を利用できるようにする。	3
4	隣接制度があったとしても、受入れを行っていないければ隣接制度の意味がないので、施設を整え毎年全校で実施する。	2
5	指定校しか選べない地域や、受入れが行われていない学校がある現状では不公平であるので、学校間にある、設備や教育等の格差をなくす。	1
6	いじめがあった時や学校の方針と合わない場合、入学後も編入できるように、この隣接制度を認める。	1
7	他区や隣接していない地域の学校にも通えるような、より自由な隣接制度にする。	1
8	通学区域を見直す。	1
9	評判の良い学校に児童・生徒が集中することを避けるために、どの学校も特色を出すようにする。	1
10	学校設備を整えてから、児童・生徒数を決める。	1

主な自由意見について

【中学校保護者の自由意見】総件数；545件

	主な自由意見（要旨）	同様意見 件数
1	選択できることは重要であり、継続して欲しい。（改善要望を含む）	194
2	隣接制度によって、各学校の生徒数・学級数のバラつきを助長していることが心配。	47
3	隣接制度は必要ない。	38
4	特殊な場合（いじめ・指定校から家が遠い等）を除いて必要ない。	33
5	生徒数が少ない学校は早く統合した方が良い。	23
6	学校によって、学力・部活動・内申点のつけ方・設備等に格差があるのはおかしい。	22
7	隣接制度により学校ごとに競争が行われ、特色ある学校づくりが進むことで、良い教育環境が作られるのは大切だ。	21
8	地域とのつながりや、近所の友達が出来なくなってしまうのが残念。	17
9	他区や隣接していない地域の学校にも通える隣接制度にして欲しい。	15
10	うわさや風評が多いので、それにより生徒数・学級数に影響が出ている。	13
11	本来であれば、すべての学校が同じ水準の教育、指導、課外活動、通学の安全が保たれるべきであり、そうであればこのような隣接制度は必要ない。	12
12	ホームページ等で隣接制度についてもっとわかりやすく情報発信をして欲しい。	12
13	よくわからない。	12
14	私立や国立等ではなく、区立の中学校へ通いたいと思える、学校づくりを心がけて欲しい。	9
15	隣接制度を利用した場合、部活動までの一時帰宅や、遠方からの通学者の通学手段等を、少しでも安全に通学できるように見直して欲しい。	9
16	抽選ではなく、面接を行い理由によっては必ず入れるようにして欲しい。	7
17	統廃合に伴い、通学区域が広くなり、通学に時間がかかってしまい、通学の安全が確保されているのか不安。通学区域の見直しをして欲しい。	7
18	通学区域によって選べる学校数が違うのは不公平である。	6
19	人数が足りない部活動が多くみられるので、部活動でも隣接制度を取り入れて欲しい。	5
20	10年間で、隣接制度によってどのような影響があったのか、どのように子供の役に立ったのか、教えて欲しい。	4
21	小学校から隣接制度を利用しているので、そのまま小学校の大半が入学する中学校へ入れて欲しい。	4
22	人気のある学校と、そうでない学校の原因を分析し公表し、改善策を講じるべき。	3
23	学校案内のパンフレットの内容を、部活動や学校の特色、進学先の高校名等充実させて欲しい。	3
24	隣接制度の申請期間が短く、選べないので、もっと長くして欲しい。	3
25	編入時にもこの隣接制度を認めて欲しい。	2
26	誰もが学校説明会に行けるように、平日・休日ともにやって欲しい。	1

	主な自由意見（要旨）	同様意見 件数
27	帰国子女の受入れを限定するべきではない。	1
28	普通学級のみだけでなく特別支援学級も隣接制度を利用できるようにして欲しい。	1
	特になし	21

【地域関係者の自由意見】総件数；82件

	主な自由意見（要旨）	同様意見 件数
1	住区と通う学校の地域が違うことで、地域・子供・保護者の関係が希薄になり、連絡などが取りづらく、行事などの不参加が目立つ。また地域として子供たちの成長を見守ることが出来ず、生活の安全や災害時の安全を確保するのが困難である。	17
2	選択できることは重要であり、改善しつつ継続して欲しい。	10
3	隣接制度によって、各学校の児童数・学級数のバラつきを助長していることが心配。	8
4	特に小学生は通学上の安全が心配なので、隣接制度は必要ない。	8
5	特殊な場合（いじめ・指定校から家が遠い等）を除いて必要ない。	7
6	隣接制度は必要ない。	5
7	うわさや風評が多いので、それにより学校を選んでいる状況がある。	4
8	各学校の特色をもっと作り出すべき。	4
9	学校によって、設備や行事に格差があるのはおかしいと思う。	3
10	本来であれば、すべての学校が同じ水準の教育、指導、課外活動、通学の安全が保たれるべきであり、そうであればこのような隣接制度は必要ない。	2
11	他区や隣接していない地域の学校にも通える隣接制度にしても良い。	2
12	私立や国立などではなく、区立の中学校へ通いたいと思える、学校づくりを心がけて欲しい。	2
13	地域の子供も、そうでない子供も、大人は温かく受入れるべき。子供たちも行事に是非参加して欲しい。	2
14	人気のある学校と、そうでない学校の原因を分析し公表し、改善策を講じるべき。	1
15	隣接制度によってどのような影響があったのか、どのように子供の役に立ったのか、教えて欲しい。	1
16	普通学級のみだけでなく特別支援学級も隣接制度を利用できるようにして欲しい。	1
17	子供が減っていく現状では、集約化されるのが当たり前で、格差が出てしまうもの止むを得ない。	1
18	中学校の通学区域は見直すべきである。	1
19	これからは隣の子が同じ学校でないのは当たり前になるので、それでも仲間として生きる力を育成するのが大切。	1
20	よくわからない。	1
21	特になし。	1